

## 令和7年第3回広尾町議会定例会 第1号

令和7年9月3日（水曜日）

### ○議事日程

- 1 会議録署名議員の指名
- 2 諸般の報告
- 3 会期の決定について
- 4 総務常任委員会報告
- 5 産業常任委員会報告
- 6 行政報告
- 7 報告第 7号 令和6年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率の報告について
- 8 報告第 8号 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について
- 9 報告第 9号 地方独立行政法人広尾町国民健康保険病院の令和6年度における業務実績に関する評価について
- 10 認定第 1号 令和6年度広尾町一般会計歳入歳出決算認定について
- 11 認定第 2号 令和6年度広尾町港湾管理特別会計歳入歳出決算認定について
- 12 認定第 3号 令和6年度広尾町国民健康保険事業勘定特別会計歳入歳出決算認定について
- 13 認定第 4号 令和6年度広尾町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について
- 14 認定第 5号 令和6年度広尾町介護サービス事業特別会計歳入歳出決算認定について
- 15 認定第 6号 令和6年度広尾町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について
- 16 認定第 7号 令和6年度広尾町病院事業債管理特別会計歳入歳出決算認定について
- 17 認定第 8号 令和6年度広尾町水道事業会計決算認定について
- 18 認定第 9号 令和6年度広尾町下水道事業会計決算認定について
- 19 同意第 1号 広尾町教育委員会委員の任命について
- 20 同意第 2号 広尾町固定資産評価審査委員会委員の選任について
- 21 議案第64号 広尾町議会議員及び広尾町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正について
- 22 議案第65号 北海道市町村総合事務組合規約の変更について
- 23 議案第66号 北海道市町村職員退職手当組合規約の変更について
- 24 議案第67号 北海道町村議会議員公務災害補償等組合規約の変更について
- 25 議案第68号 令和7年度広尾町一般会計補正予算（第2号）について
- 26 議案第69号 令和7年度広尾町港湾管理特別会計補正予算（第1号）について
- 27 議案第70号 令和7年度広尾町国民健康保険事業勘定特別会計補正予算（第2号）について

- 28 議案第71号 令和7年度広尾町介護保険特別会計補正予算（第2号）について  
 29 議案第72号 令和7年度広尾町介護サービス事業特別会計補正予算（第2号）について  
 30 議案第73号 令和7年度広尾町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）について  
 31 議案第74号 令和7年度広尾町病院事業債管理特別会計補正予算（第1号）について  
 32 議案第75号 令和7年度広尾町水道事業会計補正予算（第2号）について  
 33 議案第76号 令和7年度広尾町下水道事業会計補正予算（第2号）について

○出席議員（12名）

1番 斎藤 弘樹	3番 大庭 克彦
4番 雄谷 幸裕	5番 山岸 謙一
6番 松田 健司	7番 志村 國昭
8番 浜野 隆	9番 萬亀山 ちず子
10番 前崎 茂	11番 渡辺 富久馬
12番 山谷 照夫	13番 堀田 成郎

○欠席議員（1名）

2番 尾矢 利昭

○出席説明員

町 長	田 中 靖 章
副 町 長	及 川 隆 之
会 計 管 理 者	沖 田 一 美
兼 出 納 室 長	沖 田 一 美
総 務 課 長	山 崎 勝 彦
総 務 課 参 事	保 坂 一 也
併 総 務 課 参 事	西 内 努
併 総 務 課 主 幹	木 村 正 樹
併 総 務 課 主 幹	坂 田 邦 昭
併 総 務 課 主 幹	北 山 誠
企 画 課 長	鎌 田 慎
企 画 課 長 補 佐	木 下 慶 太
住 民 課 長	柏 崎 弥 香 子
兼 住 民 課 長 補 佐	三 浦 直 子
保 健 福 祉 課 長	山 畑 裕 貴
保 健 福 祉 課 参 事	宝 泉 大
兼老人福祉センター所長	山 畑 裕 貴

兼地域包括支援センター長	山	畑	裕	貴
兼健康管理センター長	宝	泉		大
健康管理センター次長	三	浦	直	子
保健福祉課子育て支援室長	浜	頭		力
兼子育て世代包括支援センター長	浜	頭		力
認定こども園ひろお保育園長	舩	田	光	恵
豊 似 保 育 所 長	小	村	和	徳
特別養護老人ホーム所長	金	石	輝	義
兼養護老人ホーム所長	金	石	輝	義
農 林 課 長	寺	井		真
兼 町 営 牧 場 長	寺	井		真
水産商工観光課長	室	谷	直	宏
水産商工観光課長補佐	山	田	雅	樹
建設水道課長	楠	本	直	美
建設水道課長補佐	三	上	昌	樹
建設水道課長補佐	川	崎	幸	一
兼下水終末処理センター長	楠	本	直	美
港 湾 課 長	安	岡	伸	弘
港 湾 課 長 補 佐	須	田	圭	一

〈 教 育 委 員 会 〉

教 育 長	山	岸	直	宏
管 理 課 長	渡	辺	將	人
管 理 課 長 補 佐	三	浦	弘	樹
兼学校給食センター所長	三	浦	弘	樹
社 会 教 育 課 長	村	中	晃	央
兼 図 書 館 長	村	中	晃	央
兼 海 洋 博 物 館 長	村	中	晃	央

〈 選 挙 管 理 委 員 会 〉

委 員 長	(19)	田	㊦	行
併 書 記 長	山	崎	勝	彦

〈 監 査 委 員 〉

代 表 監 査 委 員	澤	田	佳	幸
併 書 記 長	白	石	晃	基

〈公平委員会〉

委員	長	鈴木	孝俊
併書記	長	山崎	勝彦

〈農業委員会〉

会	長	大森	康雄
事務局	長	森谷	亨

○出席事務局職員

事務局	長	白石	晃基
事務局	次長	佐藤	直美
総務係	主事補	別所	龍月

開会 午前10時00分

◎開会の宣告

1、議長（堀田） ただいまから、令和7年第3回広尾町議会定例会を開会します。

直ちに本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、あらかじめお手元に配付したとおりであります。

◎日程第1 会議録署名議員の指名

1、議長（堀田） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第127条の規定により、6番、松田健司議員、11番、渡辺富久馬議員を指名します。

◎日程第2 諸般の報告

1、議長（堀田） 日程第2、諸般の報告を行います。

議員の出欠ではありますが、2番、尾矢利昭議員より欠席の届出があります。

8月28日に議会運営委員会が開催され、報告書はお手元に配付しておりますので、委員会報告は省略します。

次に、議会の動向ですが、各自お手元に配付しておりますので、後ほどご覧いただきたいと思います。

次に、本定例会に町長から報告2件、認定9件、同意2件、議案13件を受理しております。また、教育委員会から報告1件、議会から意見書案2件を受理しております。

次に、説明員の出席につきましては、別紙一覧表のとおり委任・嘱託の申出のあった関係者の出席を求めています。

次に、監査委員より令和7年5月から7月までの例月出納検査の報告があり、報告書は各自お手元に配付しておりますので、後ほどご覧いただきたいと思います。

また、一部事務組合議会の報告につきましても配付しておりますので、ご覧いただきたいと思います。

一般質問は、3人の議員から通告があり、9月4日に行います。

以上で、諸般の報告を終わります。

◎日程第3 会期の決定について

1、議長（堀田） 日程第3、会期の決定についてを議題とします。

この件は、さきに議会運営委員会が開催され、審査結果については配付した報告書のとおりであります。本件に対する委員会の報告は、本日3日から9月11日までの9日間とするものです。

お諮りします。委員会の報告のとおり会期は本日3日から11日までの9日間にしたいと思います。が、これにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

異議なしと認めます。

よって、本定例会の会期は、本日3日から9月11日までの9日間とすることに決しました。

#### ◎日程第4 総務常任委員会報告

##### 1、議長（堀田） 日程第4、総務常任委員会報告を行います。

本報告は所管事務調査であり、報告書は配付している定例会報告書25ページです。

ここで、委員長の報告を求めます。

総務常任委員会委員長、浜野隆議員、登壇の上、報告願います。

##### 1、総務常任委員会委員長（浜野） 総務常任委員会所管事務調査報告書。

令和7年第2回定例会で承認を得た所管事務調査を下記のとおり実施したので、会議規則第77条の規定により報告します。

###### 1、委員会の開催状況であります。

（1）、開催日は、令和7年8月7日木曜日であります。

（2）以下については記載のとおりでございますので、割愛をさせていただきます。

###### 2、調査の内容。

ひろお健康プラン21（第二次）について。

令和7年3月に策定されたひろお健康プラン21（第二次）について、資料に基づき説明を受けました。

本計画の策定趣旨は、健康増進法に基づき、高齢化の進展や疾病構造の変化を踏まえ、生活習慣病の発症予防、重症化予防に取り組み、「健康寿命の延伸」を目指すとともに、全ての町民が健やかで心豊かに生活できる地域づくりに努めるよう、国や北海道の計画を踏まえ、次の4つの基本方針として本計画を策定されました。

（1）、生活習慣の改善・生活機能の維持。

（2）、健康を支え、守るための社会環境の整備。

（3）、ライフコースアプローチを踏まえた健康づくり。

（4）、健康寿命の延伸。

計画期間は、令和7年度から令和17年度までとし、計画の推進状況の中間評価を12年度に実施する予定である。

本計画は、前計画の評価を踏まえ、15分野にわたり43項目の目標を設定しており、本町の課題となる主なものは、次のとおりであります。

1）、生活習慣の改善・生活機能の維持等。

ア、栄養・食生活についてであります。

令和5年度の特健康診査におけるBMI 25以上の肥満者の割合は、次の表のとおりであります。

令和5年度は男性が49%、女性が36.8%であり、ともに全道・全国と比較して10ポイント以上高い状況にあります。

小中学生における肥満傾向児の出現率は、次の表のとおりであります。

本町の小学5年生は18.8%に対し、全道が15.0%、全国が12.5%であり、全道・全国と比較して高い割合にあります。中学2年生は、本町は16.7%に対し、全道が13.2%、全国が10.7%と比較して高い傾向であります。

肥満は、がん、循環器疾病、糖尿病等の多くの生活習慣と関連があり、適正な体重を維持するためには、体格や運動量に応じた適切な食事の質と量を選択することが大切である。広尾町食育推進計画に掲載されている、子どもから高齢者までのライフステージに応じた各種食育教室、特定健診後の特定保健指導、重症化予防のための個別支援、高齢者の介護予防事業などを通じて食生活の支援を行っていくということでありました。

イの身体活動・運動についてであります。

令和5年度における「1日1時間以上の運動を実施する方」「1回30分以上の運動する習慣がある方」の割合は、次の表のとおりであります。

1日1時間以上の運動を実施する方は、本町では45%であり、全道が52.3%、全国が52.1%と比較して低い割合となっています。1回30分以上の運動習慣がある方は、本町では25.8%であり、全道が37.1%、全国が39.5%と比較して10ポイント以上低い割合となっています。

運動習慣の定着を目指し、日常生活における運動の普及啓発に取り組んでいくということであります。

次に、ウの喫煙についてであります。

令和5年度の喫煙率は、次のとおりであります。

男性が37.1%であり、全道25.5%、全国23.8%と比較し10ポイント以上も高い状況であります。女性も14.4%であり、全道・全国と比較して高い数値となっています。妊婦の喫煙率は4.5%であり、全道3.3%よりも高い割合であり、喫煙の胎児・母胎への影響について健康教育を実施するとともに、家庭での受動喫煙防止や妊産婦の喫煙に関する普及啓発の取組を継続する必要があるということであります。

エのがんについてであります。

令和4年度の主要死因及びがんによる死亡者の内訳は、次のとおりであります。

がんによる死亡者は41人で、死亡者全体の34.7%を占めており、死因の第1位となっています。がんの中でも肺がんの死亡率が一番多く、膵臓がん、胃がんの標準化死亡比が全国と比較すると高い状況であります。

がん検診による早期発見・早期治療を進めるとともに、がんの危険因子である喫煙の減少や食生活の改善のための保健指導・健康教育に取り組んでいくとのことであります。

オの循環器疾患についてであります。

死因の第2位である心疾患、第3位である脳血管疾患は、全道・全国と比較して高い死亡割合となっています。メタボリックシンドローム該当者の割合は、次の表のとおりであります。

令和5年度は27.2%で、全道・全国と比較して高い割合となっています。

内臓脂肪は心疾患や脳血管疾患などの要因となることから、メタボリックシンドロームや高血圧、

LDLコレステロールの減少を目標とし、疾病の早期発見・早期治療を進め、循環器疾患予防のための生活習慣の普及啓発や健康教育を実施していく。

次に、カのこころの健康についてであります。

本町における自殺者は、次のとおりであります。

本町における自殺者は、平成27年度から令和4年度までの8年間で5人、20代から40代と比較的若い世代の男性が多い状況となっています。

「広尾町いのちを支える自殺対策計画」を令和6年度に策定しており、心の健康に関する相談窓口の充実やゲートキーパー養成講座の開催などを通じて、心の健康の保持増進を図っていくということでありました。

次に、委員からの主な質疑であります。

本町の主要死因の1位から3位までの割合が北海道及び全国の割合を上回っているが、どのように分析されているか。また、その改善策をどのように考えているかに対し、肥満者の割合が高いこと、運動習慣がある人の割合が少ないことから、生活習慣病に関する予防可能な疾病で亡くなっている人が多いと分析している。改善策としては、自覚症状がないうちから特定健診やがん検診を毎年定期的に受けていただくよう勧奨戸別訪問の継続、質の高い個別面接、がんの精密検査対象者に声かけを徹底していくとのことでありました。

次に、病気の要因に地域性も考えられるが、例えば塩分だとか1つに特化したことを町民に徹底する意識づけをしていくことが大事でないかに対しては、テーマも設けてキャンペーンを張ることは大事である。子どものうちから肥満が課題になっているので、運動できる環境づくり、運動するきっかけをテーマに持ちながら、他の係と連携して進めていきたいとのことでありました。

次に、喫煙が、がんはもとより健康被害の「最大の危険因子」であるとの認識でよいか。そうであれば、積極的なたばこ対策が必要ではないかに対しては、1つに喫煙者に対する禁煙外来の紹介。今年度から禁煙外来を詳しく紹介するチラシを作成し、周知に努めていく。2つ目には、未成年者への禁煙教育の推進を行う。小中学生に喫煙の健康に及ぼす影響を健康教育として打合せを養護教員と行うとのことでありました。

次に、たばこが原因と考えられる医療費は、国全体でどれくらいになっているか。また、たばこ税の税収は国全体でどのくらいかに対しては、平成30年8月の厚生労働省の研究結果によると、たばこが関連する病気や火災による経済損失が2兆500億円と試算されている。内訳は、医療費が1兆6,900億円、これらの病気が必要になった介護費2,600億円、火災などが1,000億円でありました。また、財務省のたばこ税収は、年間2兆円と言われているとのことでもあります。

次に、委員から、広尾町いのちを支える自殺対策計画では、児童生徒のSOSの出し方に関する教育等を進めていく必要がありますと明記されているが、どのように進めるのかに対しては、厚生労働省や北海道教育委員会からの具体的な教育プログラムを参考に学校に出向いての講話。今年度は7月15日に広尾高校で全校生徒を対象に実施したとのことでもあります。

次に、心の健康の取組として、心の病気対策、アプローチから始める必要があるのではないかに対しては、心の病気は様々な要因が複雑に絡んでくるので、ゲートキーパー養成講座を実施してい



く。また、十分な睡眠、休養が大事なので、重要視して対策を進めていくとのことでもあります。

次に、生活習慣病の改善の取組として、身体活動・運動などをどのように進めていくかに対しては、身近な取組として歩くことが重要であり、広尾町の自然を楽しみながら体を動かすことを動機づけにして、ウォーキングイベント等を検討していくとのことでありました。

次に、ふだんの生活に1つ運動を加えることは難しいので、日常生活に落とし込んだ運動はできないかに対しては、例えば家事で体を使いましょうなどの分かりやすいチラシ、リーフレットを使って、家庭で自分のできることを提案していくとのことでありました。

最後の委員からは、がんによる死亡の因果関係、要因を町民に分かりやすく説明することが大切だが、どのように説明をしていくかに対しては、町の広報紙、ホームページ、検診の待ち時間などで健康課題の分析の結果、病気のリスクが高まる要因を分かりやすく情報提供をしていくとのことでありました。

以上で、総務常任委員会所管事務調査の報告を終わります。

1、議長（堀田） 以上で、報告を終わります。

これより質疑に入ります。質疑の発言を許します。

（「なし」の声あり）

別になければ、質疑を終結します。

以上で、総務常任委員会報告を終わります。

#### ◎日程第5 産業常任委員会報告

1、議長（堀田） 日程第5、産業常任委員会報告を行います。

本報告は所管事務調査であり、報告書は配付している定例会報告書32ページです。

ここで、委員長の報告を求めます。

産業常任委員会委員長、前崎茂議員、登壇の上、報告願います。

1、産業常任委員会委員長（前崎） 産業常任委員会所管事務調査報告書。

令和7年第2回定例会で承認を得た所管事務調査を下記のとおり実施したので、会議規則第77条の規定により報告します。

記として、1、委員会の開催状況であります。

開催日、令和7年7月23日水曜日であります。

以下、記載のとおりであります。

2の調査内容であります。

（1）、大丸山展望台設置事業についてであります。

大丸山展望台設置工事の現場を視察した後、資料に基づき説明を受けたところであります。

1）、事業の背景であります。

環境省は、令和6年6月25日、国内で35か所目の国立公園として「日高山脈襟裳十勝国立公園」

を新たに指定したところであります。広尾町をはじめ十勝管内6市町村と日高管内7町の計13市町村にまたがり、日高山脈が内陸部から海岸まで連なる雄大さと原生的な自然の風景地として位置づけられております。本町としても、町内外に景観が一望できる新たな展望台と公衆トイレを大丸山森林公園に設置し、新たな魅力と観光資源の創出のため整備をするものであります。

2)、工事の概要であります。

①であります。大丸山森林公園展望台設置工事であります。

契約額は、602万8,000円であります。

工期が令和7年4月25日から8月29日までであります。

次のページです。

工事内容ですけれども、展望台、横幅が5.46メートル、縦幅が3.64メートル、高さ2メートル、転落防止柵、長さ77.46メートル、高さが1メートル。

駐車台数が10台となっています。

②の大丸山頂上公衆トイレ設置工事であります。

契約額は、300万3,000円となっています。

工事内容は、バイオトイレ（男女兼用）であります。

以下、記載のとおりであります。

③、大丸山頂上公衆トイレ解体工事。

契約額は、78万5,000円であります。

以下、記載のとおりです。

④、大丸山立木伐採工事。

契約額45万1,000円。

工事内容は、大丸山森林公園頂上の天然林伐採68本であります。

以下、記載のとおりであります。

委員からの主な質疑であります。

現地を訪れる方は、新しい展望台を見た後に港が見える古い展望台にも行かれると思うが、上がる階段付近の土砂が削れ、テープが張ってあり使用禁止になっている。補修の予定はどうなっているか。新しい案内プレートは多言語となっているが、古いほうの説明板の改修予定は。説明として、何らかの補修は必要と考えている。多言語プレートについては、その他も含めて一体的に検討したい。

委員から、案内プレートのQRコード専用アプリでインストールをしないと多言語の案内は見られないのか。説明として、専用アプリをインストールして読み込んでもらうことになる。

委員から、今後の展望台等の整備を進めることで入山者数も増えると思うが、従前の入り込み者数等は把握されているのか。説明として、大丸山森林公園の施設管理運営をしている会社が目視で入山した台数を毎日カウントしているので、ある程度は把握している。

次、(2)の株式会社広尾産業流通振興公社の経営状況についてであります。

1)の設立の背景。

①、設立時期は、昭和58年10月3日であります。

②、設立目的は、広尾町の産業の活性化促進のため、資源の高度利用と新製品の開発及び流通機能の拡充強化を図り、経済の発展と雇用の促進に寄与することを目的としております。

③として、出資団体等であります。

平成3年度には9団体あったが、現在は広尾町130株、広尾漁業協同組合70株、広尾町農業協同組合10株、北海道銀行10株、計220株となっております。

2)の広尾産業流通振興公社の経営状況であります。

令和元年度から6年度までの公社の経営状況について、次のページのとおり、売上高、商品仕入れ額等、それぞれの推移の説明がありました。

令和3年9月に発生した赤潮の影響で、売上高は令和2年度の7,800万円台から令和3年度が6,400万円台、令和4年度の4,100万円台と右肩下がり推移している。これは漁獲量の減少と魚価の上昇などの影響によるものであり、令和6年度が約4分の1に減少している。

売上高の構成比は、イベントや小売での売上げによる一般小口、ディノス等のカタログ販売の物産販売並びにふるさと納税となっている。

令和元年度の一般小口は660万円、ふるさと納税が3,876万円、物産販売が1,305万円、合計で5,841万円、令和6年度では一般小口345万円、ふるさと納税は1,632万円、物産販売は2万円と合計で1,979万円となっている。ふるさと納税は返礼品の数量の確保ができず、売上げが減少したものである。物産販売の売上減は、赤潮発生以降、漁獲不振のため、まとまった数量が確保できなかったものであるとのことである。

経費の合計は、売上高と相関関係で商品仕入れが大半を占めているが、ここ3年間は売上げが伸び悩み、運賃、販売経費、給与が賄えない状況である。

したがって、営業利益も令和6年度は282万円、5年度も273万円、4年度は110万円と3年連続のマイナスとなったところである。

利益剰余金も令和2年度に1,694万円あったものが、令和6年度末では598万円まで減少したとのことである。

産業流通振興公社の売上げが主なふるさと納税について、町のふるさと納税推進係で当該事業者と懇談会を開催し、新商品の提案及び開発に努めているところであるが、主力となっている魚介類の水揚げ不振は劇的に改善することは考えにくい。

今後は、産業流通振興公社の設立目的の産業活性化促進のため、持続可能な経営を図りたいとのことである。

次のページは、先ほど言いました株式会社広尾産業流通振興公社の決算状況についてであります。主な委員の質疑であります。

委員から、物産販売収入が毎年落ち込んでおり、売上高は令和元年度と比較すると、令和6年度は33%、粗利益も比例して落ち込んでいる。本年度の販売収入予算額として5,700万円計上しているが、見込みがあるのか。また、毎年、販売収入が3%ずつ落ちた場合、令和8年度で繰越利益剰余金を使い切ってなくなり、令和12年度に出資金も使い果たし債務超過になる。当然、法人として存

続は難しい、5、6年でこの法人は立ち行かなくなると思うが。説明として、新年度の売上高の見積りに当たっては、ふるさと納税推進係が取り扱う見込額を100%達成できたら5,700万円の売上額になる積算になっている。したがって、ふるさと納税がそこまで伸びなければ、この売上げに達しないことになる。指摘があったように、このままいくと経営自体が立ち行かなくなるとの見通しであることから、意見をいただき、参考にしながら進めていきたいと考えている。

委員から、令和3年度時点では構成団体が9団体あったが、現在は4団体に減少している。その経過について伺う。説明として、令和3年度の時点で構成団体だった大島町は西海市との市町村合併により、水産加工業協同組合は団体の解散により、身障者広尾分会は当初の参加目的との差異があるとのことで、それぞれ脱退したものである。三菱UFJ信託銀行は、当初ディノスとカタログ販売の契約をする際に株主になる条件であったが、その後、同行も経営が厳しいとのことで脱退したものである。

委員から、このままの赤字で推移すると存続自体が難しいのではないかと。ふるさと納税の商品の返礼にしても別な方法を考えるか、または新商品の開発や雇用の促進など、もう少しやり方があるのではないかと。このままの状態をやみくもに存続していくのは難しいと思う。町の説明として、公社を生かしていくようにするためには、例えば道の駅ができた場合、経営主体となるような受皿団体になることも考えている。また、売上げだけにこだわらず、経費の抜本的な改善をしていかなければならないと考えている。これからの商品の開発については、水産物だけでなく牛肉の販売などの農産物などについても検討していかなければならない。この1、2年は我慢の年になる現状であると思う。

委員から、この数字を見て絶望的になるのではないかと。負の連鎖というか、ふるさと納税がうまくいかなかった原因は魚が取れなくなったからであるが、商品選択をもっと絞り込んでいかなければ、だんだん先細りになっていくのではないかと。また、漁業は漁獲量がなくても、それを何とか確保するよう努める必要があると思うが。説明として、主力商品の開発及び確保については従前から努めているが、返礼品も二極化している。牛肉や冷凍牛乳、チーズなどの商品開発、発掘に努めてまいりたい。

委員から、産業流通振興公社はECサイトを活用し商品を充実させる考えは。また、そのほかに食べチョクやメルカリショップスなど多くの方が見るようなECサイトに出品をする予定はあるか。説明として、ふるさと納税のポータルサイトに登録をしているが、ECサイトで管理していくほうがより効果的であるので、今後は自前のECサイトを充実させたいと考えている。

委員から、令和7年度売上予算額は5,700万円、前年度の予算額は5,000万円となっているが、売上げが2,000万円以下と予算額の半分以下となっている。ここ3年間で赤字決算で、とりわけ2年連続で280万円の赤字決算となっている。温暖化や海流の変化等で漁獲量も減少し絶対数も足りない中で、魚価も割高となっているのが現状である。一方で経費は一定程度かかることとなり、繰越利益剰余金が最大1,700万円あったものが現在600万円を切った状況である。底をついていない体力のあるうちに、公社の解散という一つの選択肢もあると思うが、どのように考えているのか。説明として、元は各産業団体がそれぞれ販売していたものを一元化したもので、経費の削減と販売促進す

る役割を公社が有すると理解している。解散については考えていないが、赤字解消の第一義は売上げを上げることであるが、なかなか上がってこないのが実態である。そのため、経費のうち人件費を別な形で肩代わりし、公社で人件費を出すまで経費が出てこないのが、役場の職員で公社の経営を担っていく方法も検討しているところである。

以上で、産業常任委員会報告を終わります。

1、議長（堀田） 以上で、報告を終わります。

これより質疑に入ります。質疑の発言を許します。

（「なし」の声あり）

別になければ、質疑を終結します。

以上で、産業常任委員会報告を終わります。

#### ◎日程第6 行政報告

1、議長（堀田） 日程第6、行政報告を行います。

町長から行政報告の申出がありますので、発言を許します。

田中町長、登壇願います。

1、町長（田中） 令和7年第3回広尾町議会定例会にご参集いただきまして、誠にありがとうございます。

行政報告をさせていただきます。

初めに、1点目の令和7年度普通交付税の決定についてであります。

令和7年度の普通交付税額が7月29日に決定いたしましたので、その概要について説明いたします。

行政報告資料中段の太枠をご覧ください。

本年度の普通交付税は、36億603万6,000円であります。当初交付決定額で前年度と比較しますと、交付額で1億3,833万6,000円の増、率で4.0%の増となりまして、地方財政計画上の増加率を2.4%ポイント上回る結果となりました。

また、臨時財政対策債の令和7年度発行可能額は、平成13年度に制度が創設されて以来、初めてゼロとなりました。

なお、前年度の臨時財政対策債を含む実質的な普通交付税との比較では、金額で1億2,909万2,000円、率で3.7%の増となりました。普通交付税の主な増額要因は、基準財政需要額において単位費用が包括算定経費などの項目で増加し、基準財政収入額において町民税などが減少したことにより全体として増加したことによるものであります。

また、令和7年度の当初予算については、普通交付税34億9,500万円を計上しておりますが、算定の結果、1億1,103万6,000円の追加補正という結果になったところであります。

次に、2点目の工事請負契約の締結についてであります。

工事名は、防舷材改修工事（第4ふ頭第3岸壁）であります。

契約の相手方は、広尾郡広尾町丸山通北7丁目3番地2、有限会社田中建設、代表取締役田中久氏であります。

契約額は3,685万円でありまして、工期は令和7年8月7日から令和7年12月10日までであります。

工事の概要であります。施工場所は会所前6丁目ほかでありまして、施工内容は受衝板付防げん材1基を設置するものであります。

指名業者等の状況についてであります。有限会社田中建設、株式会社ホリタ、アカイシ建設株式会社の3業者をもって入札を行いまして、落札率は98.7%であります。

次に、3点目の令和7年7月30日発生のカムチャツカ半島付近の地震による津波の対応についてであります。

7月30日午前8時24分にロシアのカムチャツカ半島東方沖を震源とするマグニチュード8.8の大地震が発生し、8時37分に広尾町を含む太平洋沿岸に津波注意報が発令されたことから防災無線により注意を呼びかけたところであります。その後、9時40分に津波警報が発令されたことから、直ちに災害対策本部を設置し、沿岸部の避難指示を決定いたしました。9時50分と55分に防災無線で避難を呼びかけ、10時にコミュニティセンター、老人福祉センター、児童福祉会館及び音調津避難施設の4か所を避難所として開設いたしました。その後も防災無線での避難の呼びかけや消防車両、警察車両などによる巡回など継続して行ったところであります。

午後8時45分に津波警報が解除となったことを受け、避難指示を解除しました。避難指示解除により、市街地の避難所につきましては、避難者全員が帰宅したため、午後9時に閉鎖いたしました。音調津避難施設については、31日午前4時30分に全員が帰宅したため、閉鎖をしたところであります。避難所に避難された方は、4か所合わせて84人となりました。

津波は十勝港で31日午前1時18分に最大波0.7メートルを記録したところでありますが、公共施設、民間施設ともに津波による被害はありませんでした。今回の対応について関係機関と検証し、今後の防災対策に生かしてまいります。

次に、4点目の簡易給水（フンベ地区）の水源についてであります。

昨今の猛暑と雨不足の影響により、フンベ地区の水源が枯渇し、水量が著しく減少したことに伴い、配水池の水に濁りが発生いたしました。このことから飲料水として提供するには適さないと判断し、フンベ水源地からの取水を一旦停止しているところであります。

なお、給水世帯には状況を説明し、飲料水や生活用水を配付したため、直接的な影響はございませんでした。現在の対応といたしましては、広尾消防署の協力により、水槽車で直接配水池に水を入れ、一時的に各戸に給水を行っている状況でございます。

根本的な対応策については、現在、協議を行っており、方向性が決まり次第、議会に報告をさせていただきます。今後も、地域住民の方々にはご不便をかけないように、引き続き水道水の安定供給に万全を期してまいりたいと考えております。

次に、5点目の公用車のテレビ放送受信設備におけるNHK放送受信契約の未締結についてであ

ります。

全国の自治体において公用車カーナビ等のNHK放送受信料の契約漏れが報じられていることを受け、本町で所有しております車両について調査を行ったところ、4台の公用車についてNHKと放送受信契約を結んでいないことが判明いたしました。適正な事務処理の遺漏から、町民の皆様のご信頼を損なうこととなりましたことを深くおわび申し上げます。

原因といたしましては、地方自治体が所有する公用車のテレビ放送が受信できるカーナビ等について、放送受信契約が必要であるとの認識の不足によるものであります。対応といたしましては、NHK帯広放送局と協議を進め、契約及び支払いについて適切に進めてまいります。

今後につきましては、公用車の更新の際にカーナビの搭載が必要であると判断した場合は、テレビ放送受信機能のない機器を選定することを基本としてまいります。また、法令の遵守及び適切な事務処理につきましても、周知徹底してまいります。

以上、行政報告とさせていただきます。よろしくお願い申し上げます。

1、議長（堀田） 以上で、行政報告を終わります。

ただいまの行政報告に対する質問は、4日の一般質問時に発言を許しますので、本日の午後3時まで、または散会后2時間以内に具体的内容を記載した文書をもって通告願います。

休憩します。

午前10時46分 休憩

午前11時00分 再開

再開します。

#### ◎日程第7 報告第7号

1、議長（堀田） 日程第7、報告第7号 令和6年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率の報告についての報告を行います。

田中町長、登壇願います。

1、町長（田中） 報告第7号 令和6年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率の報告についてであります。

議案書の1ページであります。

地方公共団体の財政の健全化に関する法律第3条第1項及び第22条第1項の規定に基づき、監査委員の意見をつけて別冊のとおり報告をさせていただくものであります。

なお、詳細につきましては、副町長より補足説明をいたさせます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

1、議長（堀田） 次に、補足説明をさせます。

及川副町長。

1、副町長（及川） それでは、報告第7号につきまして、補足説明をいたします。

まず、お手元の関係資料の確認をお願いいたします。初めに別冊の令和6年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率報告書、次に別冊－1、監査委員からの令和6年度広尾町決算に基づく健全化判断比率審査意見書、そして別冊－2、同じく監査委員からの令和6年度広尾町公営企業会計決算に基づく資金不足比率審査意見書、以上の3冊が報告第7号に関わる関係資料となります。ご確認をお願いいたします。

それでは、別冊の令和6年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率報告書の1ページをお開きください。

中段の米印のところに健全化判断比率の概要を整理しておりますので、後ほどご確認をいただきたいと思います。

上段の総括表ですが、判断項目といたしまして実質赤字比率から将来負担比率まで4つの指標がありまして、それぞれの判断比率は、標準財政規模と比較して指標化したものです。

指標と判断基準の関係ですが、これら4つの指標のいずれかが早期健全化基準を超えた場合、自主的な改善努力による財政健全化計画を定め、また、将来負担比率を除く3つの指標のいずれかが財政再生基準を超えた場合には、国の関与、指導による財政再生計画を定めなければならないこととなります。

本町の健全化判断比率の状況をご説明いたします。

まず、実質赤字比率ですが、一般会計等の実質収支が赤字の場合に数値として表示されますが、令和6年度は黒字決算のため、比率の表示はありません。

連結実質赤字比率については、全会計を含めた実質赤字の場合に数値として表示されます。こちらでも全会計黒字となったことから、比率の表示はありません。

実質公債費比率については12.7%で、前年比0.9ポイントの減であります。減の主な理由は、普通会計地方債の元利償還金が減少したためです。

将来負担比率は、一般会計等に係る地方債の現在高や債務負担行為に基づくもの、さらに特別会計への繰出金のうち公債費に係るものなど、将来負担すべき実質的な負債の残高等を対象としておりまして、令和6年度決算は19.2%で、前年比2.3ポイントの減であります。減となった主な要因は、一般会計等の地方債現在高の減によるものです。いずれも早期健全化基準を下回っているところであります。

なお、詳細につきましては、2ページから5ページに記載のとおりであります。後ほどご確認をお願いいたします。

次に、6ページをお願いいたします。

こちらが資金不足比率報告書であります。

公営企業会計に係る資金不足比率の状況であります。



本町におきましては、公営企業法適用企業として水道事業会計と下水道事業会計が、法非適用企業として港湾管理特別会計が対象となっております。

令和6年度決算は、いずれも資金不足の状況になる会計はありませんでした。

なお、詳細につきましては、7ページから8ページに記載しているとおりであります。後ほどご確認をお願いいたします。

次に、別冊－1の令和6年度広尾町決算に基づく健全化判断比率審査意見書をお手元にご用意願います。

別冊－1の2ページをお願いいたします。

5の審査結果の(1)、総合意見であります。

審査に付された次の健全化判断比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類は、いずれも適正に作成されているものと認めるとするものであります。

続きまして、別冊－2、令和6年度広尾町公営企業会計決算に基づく資金不足比率審査意見書をご用意願います。

1ページをお願いいたします。

下の5の審査の結果であります。審査に付された令和6年度各公営企業会計決算に基づく資金不足比率及びその算定基礎となる事項を記載した書類は、いずれも適正に作成されており、各公営企業会計決算において資金不足額は生じていないため、資金不足比率は算定されないことを確認したとするものであります。

以上で、報告第7号の補足説明を終わります。よろしくお願いいたします。

1、議長（堀田） これより質疑に入ります。本件に対する質疑の発言を許します。

（「なし」の声あり）

以上で、質疑を終了します。

これをもって報告第7号 令和6年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率の報告についての報告を終わります。

#### ◎日程第8 報告第8号

1、議長（堀田） 日程第8、報告第8号 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価についての報告を行います。

山岸教育長、登壇願います。

1、教育長（山岸） それでは、報告第8号 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項に基づき報告をさせていただきます。

お手元の点検及び評価報告書1ページをお開き願います。

まず、総合教育会議の開催状況であります。

改正地方教育行政法の施行に伴い平成27年度に設置されました広尾町総合教育会議につきましては、10月1日に会議を開催しております。会議における議題等につきましては、掲載のとおりであります。

次に、2ページから4ページまでは、教育委員会会議の開催状況についてであります。令和6年度は、11回の会議を開催しております。各会議における議題等につきましては、掲載のとおりとなっております。

次に、5ページから12ページまでは、令和6年度における教育委員の主な活動状況を載せております。

次の13ページは、教育委員会に設置しております主な教育機関等の開催状況について掲載しております。

14ページには、令和6年度の教育に係る予算と決算の状況を載せてございます。教育費全体の予算に対する執行率は95.4%となっております。

次に、教育委員会の事務事業の執行状況等について掲載しております。

まず、15ページから22ページには、令和6年度の教育行政執行方針に関する主な施策について、学校教育、学校給食、社会教育、社会体育、図書館の項目ごとに整理してございます。

続く23ページから29ページには、学校教育に関する事業の状況といたしまして、各学校の学級編制や児童生徒数をはじめ、学校教育に係る事業の実施状況、学校等施設の耐震状況について載せております。

また、30ページからは文化・社会教育・社会体育に関する事業の状況を載せており、33ページ、34ページには令和6年度の文化賞・スポーツ賞等の受賞者一覧を掲載してございます。

なお、これらの事項につきまして、広尾町まちづくり推進計画委員会委員長、櫻井宏明氏並びに広尾高等学校PTA会長、徳永彰氏のお二人からご意見をいただいております、その内容を35ページから37ページに掲載させていただいております。

以上、簡単ではございますが、令和6年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価報告書について説明を終わらせていただきます。

1、議長（堀田） これより質疑に入ります。本件に対する質疑の発言を許します。

6番、松田議員。

1、6番（松田） 3点ほどお伺いしたいと思います。

先ほど説明のありました報告書の中の35ページ以降のところ、意見という形でたくさん載っておりますが、これに対して何らかのお答えがあったのかどうか、その場でお答えがあったのかどうか、まず、その辺のところを聞きたいと思います。

それを基にして、15ページの教員補助員配置事業のところ、広尾小学校が5名、豊似小がゼロ名、広尾中が1名ということになっていますが、豊似小学校が教員補助員ゼロ名ということに対して、どういうことでこうなっているのかご説明いただきたいと思います。

もう一点は、28ページになります。意見のところの下段のほうで、学校に登校できない子どものことだとか、いじめの防止、あと、道徳教育のことが意見として出ていますが、それらの基になっているのがこのWEB－ＱＵの、これは心理テストというのですか、何かになってくると思うのですけれども、その辺のところのこの意見に対する統計の状況、いじめがあるのかないのか、登校できない子どもがどのぐらいいるのか、あと道徳教育がどの程度進んでいるのかみたいなどころ、ご説明いただけるのであれば説明していただきたいと思います。よろしくお願いします。

1、議長（堀田） 山岸教育長。

1、教育長（山岸） 松田議員の質問にお答えをさせていただきます。

15ページの教員補助員の配置事業であります。こちらのほう、広尾小学校5名で豊似小学校はゼロ名ということになっております。幅広く教員補助員のほう、募集をかけております。そちらのほうで、各学年、広尾小学校には各学年配置をしたいという要望がございまして、広尾小学校のほうに5名ということで、1学年1名ということでちょっと足りなかったのですけれども、5名という配置になっております。全体の募集をして、人数に見合わなかったものですから、豊似小学校から1名という要望があったのですけれども、それが配置できなかったという現状にございます。

あと、28ページのＱＵテストの関係、こちらのほう、幅広く子どもたちから、こういった心理テストを行いまして、現在の子どもたちの状況を確認しております。こちらのほうは、コンピューターで統計的にきちんと数字が出て、子どもたちがどのようなことでどのような団体が固まっているかという状況、それは把握しております。現在不登校というところで聞かれておりますけれども、今年度の状況なのですけれども、中学校で2名という形で不登校の状況がございます。

以上であります。

1、議長（堀田） ちょっと漏れている。意見に対するお答えはしたのですか。  
山岸教育長。

1、教育長（山岸） 申し訳ありません。

お二人から意見等をいただきまして、こちらのほうは意見をいただいたときに職員対応をして、面談してお話をしております。子どもを支援する体制づくり等が必要ではないかという意見もいただいておりますので、教育委員会としましても、不登校に対する登校以外の場所、その場所を確保するために今年度対策を講じております。現在まだそちらのほうには通っておりませんが、そういうような形で対応するというので、こういった意見をいただいたときには、まず取り組める部分から取り組んでいる、そういった状況でございます。

1、議長（堀田） 6番、松田議員。

1、6番（松田） まず、15ページのところですけれども、配置をしたかったけれども、人員が集まらなかったというようなご説明であったと思います。以前にもこの話、数回この議場の場でお話ししていますが、募集しても集まらないという人員、これ一番の要因としては、資格要件が厳しかったりとか、いろいろ単純に全国的な人員不足という以外にも、何か考えるべきものがあるのではないかというお話、以前にもしたことがあると思いますが、足りていない状況であれば、地元の人間がしっかりと学校の中に入ってお手伝いができるような環境をハードルを下げる形で実現していくことも、これからしっかりと考えていかないと駄目なのではないかなと思うのですが、その資格要件で例えば保育所以上の資格が要ったりだとか何かしらいろいろあると思うのですけれども、その辺の規制の緩和、地元のお父さん、お母さん、主にお母さんたちになってくると思うのですけれども、手の空いた時間で学校の中に入ってきてもらえるような仕組みづくり、以前にもお話ししたのですけれども、そのようなことを考えていく場面がまた出てきたのではないかというところでお答えいただきたいなと思います。

最後のところ、いろんな意見があった中で、お答えしているという話だったのですが、もしも答えておられるのであれば、私たちにこういう示していただく資料の中で、一つの意見に対することに対してお答えされたことも併せて載せていただくと、いろいろ我々も次の展開だとか、こういうことが行われているのだということがより分かりやすくなると思うので、そういうことができないかどうかという部分を改めて聞いてみたいと思います。お願いします。

1、議長（堀田） 山岸教育長。

1、教育長（山岸） 以前にもお答えしているかと思うのですけれども、教員補助員につきましては、先ほど松田議員からも発言がありましたように、幼稚園以上の教員の免許、それを資格要件としております。このような形で子どもたちの対応、一定のレベルを維持して、そのような対応をしている状況でございます。各町村でも支援員という形で、そういった配置をしているところがあります。現場の学校のほうともまた話合いを持って、何が必要なのか、そこら辺をしっかりと検討してまいりたいと思っております。

意見に対する答えというところで、私たちもこのような意見をいただいて、それぞれの対応、まずできるところから対応しているというところであります。このような状況でありますので、今回、意見という形で終わっておりますので、このような形をどのようにするか、再度このような報告書に関して、どのような形がよろしいのか、こちらのほうを検討してまいりたいと思います。

以上であります。

1、議長（堀田） ほかに。

（「なし」の声あり）

別になければ、以上で質疑を終了します。

これをもって報告第8号 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価についての報

告を終わります。

◎日程第9 報告第9号

1、議長（堀田） 日程第9、報告第9号 地方独立行政法人広尾町国民健康保険病院の令和6年度における業務実績に関する評価についての報告を行います。

田中町長、登壇願います。

1、町長（田中） 報告第9号 地方独立行政法人広尾町国民健康保険病院の令和6年度における業務実績に関する評価についてであります。

地方独立行政法人法第28条第1項第1号の規定に基づき、地方独立行政法人広尾町国民健康保険病院の令和6年度における業務実績に関する評価を行いましたので、同条第5項により、その評価結果を報告いたします。

評価を行うに当たりましては、国保病院から提出がありました令和6年度の業務実績報告書の内容を確認し、令和6年度の年度計画に登載された取組につきまして、小項目及び大項目の項目別評価を行い、その結果を踏まえ、全体評価では中期計画の進捗状況につきまして総合的な評価を行ったものであります。

別冊でお配りをさせていただいております令和6年度における業務実績に関する評価結果をご用意をお願いいたします。

2ページであります。

1の全体評価、(1)、評価結果であります。

全体評価につきましては、項目別評価の結果を踏まえ、「中期計画の実現のためには、やや遅れている」という評価が妥当であると判断いたしました。

項目別評価につきましては、大項目の「第1 町民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置」、大項目「第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置」、大項目「第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置」及び大項目「第4 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置」、これら4つの項目につきましては、いずれもC評価（中期計画の実現のためには、やや遅れている）と判断いたしました。

なお、評価結果の詳細につきましては、担当参事より補足説明をいたさせますので、よろしくお願いを申し上げます。

1、議長（堀田） 次に、補足説明をさせます。

宝泉保健福祉課参事。

1、保健福祉課参事（宝泉） 報告第9号につきまして補足説明をいたします。

お手元に報告第9号別冊、地方独立行政法人広尾町国民健康保険病院令和6年度における業務実

績に関する評価結果と、報告9号関係資料の1、年度計画（令和6年度）のこの2つの資料をご用意ください。

初めに、別冊、業務実績に関する評価結果の1ページをご覧ください。

上段の評価の方法についてですが、評価方法につきましては記載のとおりで、昨年評価の方法を説明いたしましたので、ここでの説明は略させていただきます。

次に、5ページをご覧ください。

2の大項目評価についてです。

大項目の「第1 町民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置」につきまして、(1)の評価結果はC評価（中期計画の実現のためには、やや遅れている）と判断いたしました。

(2)の判断理由につきましては、記載のとおりです。

(3)の大項目評価に当たり考慮した事項につきましては、関係資料1、年度計画の5ページをご覧ください。

小項目評価の主な評価結果を説明いたします。

上段2の医療水準の向上、(1)、医療職の人材確保と人材育成につきましては、次のページ、6ページをご覧ください。

中段の表は、医療職の人材確保の数値目標と実績値です。医師につきましては、常勤医4人体制を維持したものの、看護師の人数が26人と目標値35人を大きく下回り、従前からの課題が深刻さを増したことから、小項目評価はⅡの「計画を下回っている」と判断いたしました。なお、評価に当たっての意見・指摘等につきましては、表の下のとおり「看護師の確保に向けて、重点的に取り組むこと」と意見を付しております。

次に、9ページをご覧ください。

中段の(5)の職員の接遇向上につきましては、接遇向上の取組として、職員全員が医療接遇オンラインセミナーを受講しましたが、一度きりの研修にとどまり目標を達成できなかったことから、小項目評価はⅡの「計画を下回っている」といたしました。なお、評価に当たっての意見・指摘等につきましては、記載のとおり意見を付しております。

次に、別冊の業務実績に関する評価結果に戻っていただき、8ページをご覧ください。

大項目の「第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置」につきまして、(1)の評価結果はC評価と判断いたしました。

(2)の判断理由につきましては、記載のとおりでございます。

(3)の大項目評価に当たり考慮した事項につきましては、関係資料1、年度計画の13ページをご覧ください。

中段の(3)、人事評価システムの構築と給与制度についてですが、人事評価システムが構築されておらず、人事評価研修会も開催されなかったことから、小項目評価はⅠの「計画を大幅に下回っている」といたしました。なお、評価に当たっての意見・指摘等につきましては、記載のとおり意見を付しております。

次に、別冊の業務実績に関する評価結果に戻っていただき、9ページをご覧ください。

大項目の「第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置」につきまして、(1)の評価結果はC評価と判断いたしました。

(2)の判断理由につきましては、記載のとおりです。

(3)の大項目評価に当たり考慮した事項につきましては、関係資料1、年度計画の15ページをご覧ください。

上段の1の持続可能な経営基盤の確立につきましては、その下の表をご覧ください。経常収支比率(経常費用に対する経常収益の割合)は97.0%と100%を割り込み、医業収支比率(医業費用に対する医業収益の割合)も58.5%と振るわず、職員給与費比率(医業収益に対する職員給与費の割合)で数値の低いほうが望ましいものですが、実績値は100.2%と悪化し、これら3つの指標が全て目標値を下回りました。特に職員給与費比率は100%を超過し、厳しい経営状況が浮き彫りとなりました。これらのことから、小項目評価はⅡの「計画を下回っている」と判断いたしました。なお、評価に当たっての意見・指摘等につきましては、記載のとおり意見を付しております。

次に、その下の2の収入の確保につきましては、次のページ、16ページの表をご覧ください。

入院患者数、病床利用率、平均入院単価はいずれも目標値に届かなかったものの、地域包括ケア病床において積極的に入院受入れを行ったことで、平均入院単価が昨年度を上回りました。入院患者数は1万647人と昨年度との比較で759人の減となり、入院収益は2億9,147万円で、対前年度比1,069万円の減収となりました。外来患者数につきましても目標値を下回りましたが、平均外来単価につきましては、新型コロナワクチン接種の減少が単価を押し上げ、目標値を上回りました。外来患者数は3万4,340人と昨年度との比較で4,868人の減となりましたが、平均外来単価の上昇により、外来収益は1億9,949万円で、対前年度比155万円の増収となりました。これらのことから、小項目評価はⅡの「計画を下回っている」と判断いたしました。なお、評価に当たっての意見・指摘等につきましては、次のページ、17ページの上段をご覧ください。「地域医療ニーズに応じた医療の提供と患者サービスの一層の向上により、入院収益と外来収益を増収させること」と意見を付しております。

次に、少し飛びまして23ページをご覧ください。

別表2、収支計画です。

表の右から2列目の決算額の欄をご覧ください。

最上段の収益の部の合計額が9億6,255万5,000円、中段の費用の部の合計額が9億9,244万2,000円で、費用の部の合計額が収益の部の合計額を上回り、最下段の純利益がマイナス2,988万7,000円と、独法化以来、初めての赤字決算となりました。

続きまして、別冊の業務実績に関する評価結果に戻っていただき、11ページをご覧ください。

大項目の「第4 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置」につきまして、(1)の評価結果はC評価と判断いたしました。

(2)の判断理由につきましては、記載のとおりです。

(3)の大項目評価に当たり考慮した事項につきましては、関係資料1、年度計画の18ページを

ご覧ください。

上段の1の町からの財政支援についてです。町の負担金・交付金は3億8,446万円と中期計画の予定額3億2,507万円との比較で5,939万円の増となりました。医業収益の減収と人件費の増加が主な要因で大幅な超過となったため、小項目評価はⅡの「計画を下回っている」が妥当であると判断いたしました。なお、評価に当たっての意見・指摘等については、記載のとおり意見を付しております。

最後に、別冊の業務実績に関する評価結果に戻っていただき、2ページをご覧ください。

1の全体評価についてです。

(1)の評価結果につきましては、大項目の第1、第2、第3及び第4がいずれもC評価となっており、全体評価につきましても「中期計画の実現のためには、やや遅れている」が妥当であると判断いたしました。

この別冊の12ページをご覧ください。

小項目評価の集計結果を表にまとめたものでございます。

次のページ、13ページにつきましては、小項目評価の結果表でございます。

次のページ、14ページから16ページまでは、予算、収支計画、資金計画で、令和6年度の決算額を併記したものでございますので、後ほどご確認ください。

また、お配りいたしました報告第9号関係資料2につきましては国保病院から提出がありました業務実績報告書、報告第9号関係資料3は財務諸表でございます。

補足説明は以上でございます。

1、議長（堀田） これより質疑に入ります。本件に対する質疑の発言を許します。

4番、雄谷議員。

1、4番（雄谷） それでは、今、報告がありましたとおり、令和6年度における業務実績に関する全体評価の結果は、別冊の2ページのとおり、C評価の「中期計画の実現には、やや遅れている」という評価です。過去の全体評価の結果を見ますと、第1期中期計画の初年度、令和元年度から令和3年度まではA評価の「中期計画の実現に向けて計画どおり進んでいる」という評価でした。第1期の最終年度である令和4年度から今6年度の評価結果を含めて、3年連続でC評価の「中期計画の実現には、やや遅れている」という評価結果です。

設立団体の長として評価しました、独立行政法人に評価結果を通知しました、公表しました、議会に報告しました、これで終わっては駄目だと思います。地方独立行政法人法の第28条第6項で、「設立団体の長は、評価の結果に基づき必要があると認めるときは、当該独立行政法人に対し、業務運営の改善その他の必要な措置を講ずることを命ずることができる」と明記されています。3年連続でC評価の「中期計画の実現には、やや遅れている」という評価をした設立団体の長として、この第28条第6項をどのようにお考えでしょうか。

過去の町立国保病院の経営形態の見直しが検討された背景には、医師不足による診療体制の縮小、



経営状況の悪化、そして当時の一般会計からの補助金が町財政にも大きな影響を与えていることからでした。数字的なことはこの後の決算特別委員会で質疑させていただきますけれども、早急に業務運営の改善を命ずるべきだと思いますが、命ずる考えがあるかどうかお尋ねいたします。

1、議長（堀田） 田中町長。

1、町長（田中） 今、雄谷議員からご指摘がありました国保病院の全体に関わる評価の内容、そして法律に基づくその結果についての公表の部分でありますけれども、改善命令、措置を講ずる考えの部分でありますけれども、確かに法第28条第6項の中で設立団体の長の義務として必要な措置を講ずることを命ずることができるということでもあります。

国保病院の運営状況につきましては、今、評価結果の中でも報告をさせていただいたとおり、大変厳しい状況にあるというふうに認識をしております。その中で、今ご指摘があったとおり、地方独立行政法人化した当初3年間については非常にその効果もあり、非常にいい結果で終わっているところでもありますけれども、その後、令和4年以降、これはいろいろな事情があるというふうには認識はしておりますけれども、やはり一番大きな部分でいけば、コロナの関係で外来患者が少なくなった、あるいは入院患者についても受入れができないという状況に併せて看護師の人材不足というようなことが重なったことによる、そういう影響だというふうに思っております。

国保病院に対して法律に基づく措置を命ずる考えのことについてのご質問でありますけれども、今までそういった部分について発したことはございません。ただ、今後の部分でありますけれども、今申し上げたような業務実態、業務成績ということでもありますので、町の負担金、そして交付金の部分についてももちろんでありますけれども、何よりもやはり町民の命と健康を守るというこの町立病院の役割をきちっと果たしていくためにも、町長として設置者として業務の内容について細かいところまで担当のほうと協議をしながら必要な措置を講じる必要があるということで認識をしております。今後そういったことで詰めていきたいというふうに思っております。

1、議長（堀田） 雄谷議員。

1、4番（雄谷） 今後詰めていくということなのではございますけれども、一つの例として、患者満足度調査、これが年度計画では年2回実施する。令和6年度も実施されていません。年2回やるとずっと言っているのですけれども、実際やったのは令和4年度に1回だけです。この6年間、2掛ける6で12回やると言っているのに、たった1回しかやっていないのですよ。それで、職員給与費比率については、初年度については計画の90.4%に対して83.9%で計画を上回ったと。令和2年度以降も、実績では90%を超えて計画を下回っているという状況です。先ほど説明がありましたとおり、令和6年度については100.2%ということで、100%を超えているということは、自分のところの医業収益だけでは職員給与を賄えていないと。それで書いてありました。厳しい経営状況が浮き彫りになったと記載されています。全くそのとおりだなと思うのですけれども、そして、独立行政法人法の

第29条では、「独立行政法人は、評価の結果を、中期計画及び年度計画並びに業務運営の改善に適切に反映させるとともに、毎年度、当該評価の結果の反映状況を公表しなければならない」と。独法は評価結果の反映状況を公表しなければならないと言っているのですよね。書いてあるのです。設立団体の長として、国保病院が評価結果の反映状況を公表しているかどうか確認されていますか。

1、議長（堀田） 田中町長。

1、町長（田中） 法律の中で規定されている法第29条の関係でありますけれども、これは独立行政法人側のほうの義務としてあるというところでありまして、ただいま報告をした改善の関係、評価の関係を適切に反映した中で公表しなければならないというところであります。評価結果の業務の反映という部分につきましては、今言いましたように、法律の中で規定されていることにつきましては認識をしているところであります。

前段の質問とも重なるわけでありまして、この評価結果から見えてくる課題といったものについては、その解決に向けて、命令という形も当然そうなのですが、常に幹部の職員とは打合せあるいは懇談、協議を重ねているわけでありまして、国保病院が評価結果について業務運営に適切に反映しているかどうかというご質問でありますけれども、そのことを確認しておりません。というのは、公表されていないということを確認しているということでもあります。

今後につきましては、こういった法の趣旨にのっとり、先ほどの第28条第6項の関係、それから第29条の関係につきましても、法にのりつつ適切に対応していきたいというふうに考えているところでもあります。

1、議長（堀田） 雄谷議員。

1、4番（雄谷） 反映状況を公表しなければならないと言っているのを公表していないのですよね。ここの部分だけをとり、設立団体の長として業務運営の改善を命ずることが責務だと思うのです。先ほどの運営交付金についても3億8,000万円ということで、交付金を減らしていくことも経営形態の見直しの一つになっていたと思うのですが、やっぱり全体評価が3年連続で「やや」ということで、早めに早めに、手を打つと言ったら変ですけれども、もう少し厳しい姿勢で臨む必要があると思うのですが、もう一度町長のお考えをお尋ねいたします。

1、議長（堀田） 田中町長。

1、町長（田中） おっしゃるとおりであるというふうに思います。今おっしゃられたとおり、法律の趣旨にのっとり、きちっと法律に準じて命令を出すところについては改善命令を出していきたいというふうに考えております。

先ほども申し上げたとおり、病院の経営、大変今厳しい状況であります。これは広尾町の国保病

院だけに限った問題ではないというふうに認識をしておりますけれども、先ほど来申し上げており、物価の高騰、人件費の高騰、資機材の高騰等、あるいはコロナ以降の患者がなかなか戻ってこないというような状況を踏まえると、どこの自治体病院も大変な今状況になっているということは状況として聞いているわけでありましてけれども、やはり先ほど申し上げたとおり、広尾町の市民の命を守る病院としてこれからも持続可能な病院として運営していくために必要な措置として、今後そういった法律に基づいた改善命令等を出していきたいというふうに考えているところであります。

1、議長（堀田） ほかに。

10番、前崎議員。

1、10番（前崎） 別冊の15ページの収支計画の部分なのですが、この中で収益の部の営業収益で医業収益の当初計画、これが6億4,920万4,000円になっておりまして、決算額が5億350万2,000円と、途中で補正していますけれども、当初予算と比べると1億4,570万円ほど医業収益が減少しておりますけれども、約2割以上の減少ということで、この減少の主な要因についてご説明いただきたいと思います。

あと、また、関係資料1の16ページなのですが、この中で③の適切な施設基準管理等の中で、病床利用率の令和6年度の目標値が75%、これに対して、実績値が60.8%ということで、約15%落ち込んでおりますけれども、これらについても、その減少した内容についてご説明いただきたいと思います。

あと、同じ関係資料1、6ページに戻りますけれども、以前も取り上げたことがありますけれども、看護師数の目標値が35人に対して26人ということで、3月から見れば若干改善されていますけれども、ただ、目標に対してはまだ9人ほど不足をしております。このことによっていろんな診療について影響があるということも考えられますので、独法になる際に看護師の確保についての議論の中で、いわゆる連携病院と協議しながら進めていくということで答弁があったわけなのですが、そういった中で、今後この看護師数を目標値に向ける協議について、どのような形で今進められているのか、これについても併せてご説明をいただきたいと思います。

1、議長（堀田） 宝泉保健福祉課参事。

1、保健福祉課参事（宝泉） まず、1つ目の医業収益の減少の要因なのですが、やはり入院患者の減による入院収益の減少、これが主な要因でございます。

2つ目の病床利用率につきましても目標値に達していないということですが、これについても入院患者数の減、医師は充足されましたが、やはり看護師が不足しているということで、入院受入れについて看護師の不足も影響したということが考えられると認識しております。

それから、3番目の看護師の数なのですが、目標値35人に対して26人と大幅に下回ったというこ

とは先ほど報告いたしました。これにつきましては、国保病院側が従前からいろいろな方法で募集活動をしております。本町につきましても、以前も説明しましたが、修学資金貸付制度の創出、その促進利用等で呼びかけていますが、なかなか成果が今のところ上がらないのが実態でございます。看護師につきましては、今、国保病院が取り組んでいる特徴的な確保の取組としましては、半年の期限付の応援ナースを採用して、これを何とか不足分に充てて病院を維持しているという状況で、応援ナースについては順調にと言っているのでしょうか、それが根本的な解決にはならないとは認識しておりますけれども、順調に採用はされているという認識でございます。

以上でございます。

1、議長（堀田） ほかに。

1番、斎藤議員。

1、1番（斎藤） 関係資料1番、年度計画の6ページ、ただいま前崎議員からもありました箇所について伺います。

看護師数が9名不足しているということで、募集活動であったり、応援ナースについての取組は今ご答弁がありました。その一方で、この看護師不足の状況となると、今、働かれている方々の労働環境が心配されますが、今、働かれている看護師の方々の平均の時間外労働時間であったり有休の取得状況、それから今働かれている方々のケアやサポートなど取り組まれていることがあれば伺います。

1、議長（堀田） 宝泉保健福祉課参事。

1、保健福祉課参事（宝泉） 今ご質問の看護師の時間外勤務の状況と有休の取得状況等は、申し上げますが、今、私のほうで承知はしておりません。

以上です。

1、議長（堀田） ほかに。

（「なし」の声あり）

別になければ、以上で質疑を終了します。

これをもって報告第9号 地方独立行政法人広尾町国民健康保険病院の令和6年度における業務実績に関する評価についての報告を終わります。

昼食のため、休憩します。

午前11時51分 休憩

午後 1時00分 再開

本会議を再開します。

◎日程第10 認定第1号～日程第18 認定第9号

1、議長（堀田） 日程第10、認定第1号 令和6年度広尾町一般会計歳入歳出決算認定についてから日程第18、認定第9号 令和6年度広尾町下水道事業会計決算認定についてまでの9件を一括議題とします。

提出者に提案理由の説明を求めます。

田中町長、登壇願います。

1、町長（田中） 認定第1号 令和6年度広尾町一般会計歳入歳出決算認定についてから認定第7号 令和6年度広尾町病院事業債管理特別会計歳入歳出決算認定についてまでの7件につきましては、地方自治法第233条第3項の規定により、決算について監査委員の意見をつけて議会の認定に付するものであります。

次に、認定第8号 令和6年度広尾町水道事業会計決算認定についてから認定第9号 令和6年度広尾町下水道事業会計決算認定についてまでの2件につきましては、地方公営企業法第30条第4項の規定により、決算について監査委員の意見をつけて議会の認定に付するものであります。

各会計の決算認定につきまして、認定方よろしくお願いを申し上げる次第であります。なお、それぞれの各会計の決算の内容につきましては、副町長より補足説明をいたさせますので、よろしくお願いを申し上げます。

1、議長（堀田） 次に、補足説明をさせます。

及川副町長。

1、副町長（及川） それでは、順次資料の説明をいたします。

初めに、お手元の決算書並びに決算関係資料の確認をお願いいたします。

まず、令和6年度広尾町各会計別決算書であります。続きまして、令和6年度決算に係る主要な施策等説明資料であります。続きまして、令和6年度広尾町水道事業会計決算書であります。次に、令和6年度広尾町下水道事業会計決算書であります。さらに、監査委員からの決算審査意見書が2冊あります。1冊が一般会計及び特別会計、もう一冊が公営企業会計、合わせて2冊であります。以上の6冊が決算に関わる関係資料であります。ご確認をお願いいたします。

それでは、まず一般会計の決算についてご説明いたします。

令和6年度広尾町各会計別決算書をお手元にご用意願います。

何枚かめくっていただきまして、1ページ、2ページをお開きください。見開きのページになります。

こちらが令和6年度の会計別決算の総括表であります。

このうち、最上段の一般会計であります。

予算現額79億7,357万5,000円に対しまして、その右の列、歳入決算額77億6,784万7,364円、歳出決算額76億3,972万57円、差引き額1億2,812万7,307円でありまして、歳入決算額に対する歳出決算額の執行率は98.4%であります。

次に、特別会計であります。

港湾管理特別会計から病院事業債管理特別会計まで6つの特別会計の合計であります。下から2段目が合計欄となります。予算現額35億8,275万9,000円に対しまして、歳入決算額28億3,433万7,183円、歳出決算額27億8,947万1,682円、差引き額4,486万5,501円、執行率は98.4%であります。

決算書については、以上となります。

次に、令和6年度決算に係る主要な施策等説明資料をご用意ください。

主要な施策等説明資料の1ページをお開きください。

まず、第1表、令和6年度各会計別決算概況の表を順次説明いたします。

単位は1,000円あるいはパーセントであります。

まず、1の一般会計決算状況についてであります。令和6年度の歳入歳出差引きの決算額につきましては、(C)欄の1億2,812万7,000円となりました。翌年度に繰り越すべき財源(D)欄、3,002万9,000円を差し引きし、実質収支(E)欄は9,809万8,000円となったものであります。

次、単年度収支(F)欄はマイナス1億1,940万6,000円、積立金(G)欄は47万9,000円、繰上償還額(H)欄及び積立金取崩額(I)欄はありませんでした。結果、実質単年度収支(J)欄は、マイナス1億1,892万7,000円となったものであります。

次に、2の一般会計地方債残高及び財政指数状況等であります。

令和6年度の地方債の現在高であります、84億533万3,000円であります。前年度比7億449万9,000円の減少であります。内訳といたしまして、政府資金58億5,989万4,000円、その他が25億4,543万9,000円あります。

次の次年度以降債務負担行為額であります、3億4,478万5,000円あります。前年度と比較し、1,256万8,000円の減少であります。

次の令和6年度決算における本町の実質公債費比率は12.7%で、前年度比0.9ポイントの減少、将来負担比率は19.2%で、前年度比2.3ポイントの減少であります。

次に、その右の真ん中の表の関係であります。

令和6年度の財政力指数であります、0.228であります。

その下、経常収支比率については89.7%で、前年度比6.8ポイントの増加であります。

次に、税の徴収率の関係であります。全体では96.6%でありまして、前年度比0.1ポイントの増であります。現年度分については、前年度比0.2ポイントの増加で99.6%となっております。

次に、その右の表、3の基金の状況であります。

令和6年度の全会計の合計積立金現在高は33億3,107万5,000円あります。内訳ですが、財政調整基金が6億8,452万7,000円、減債基金が12億4,309万4,000円、その他特定目的基金が12億9,593万2,000円となっております。

次の国民健康保険基金が3,848万2,000円、介護保険給付費準備基金が6,904万円あります。用品

購買基金の現在高が800万円で、これを含めた合計額が33億3,907万5,000円となっております。

備荒資金組合の納付金の関係ですが、現在高が2億3,680万7,000円となっております。

次に、その下の表、4の各会計別決算状況であります。

この表の一番右の列の上段、地方債の令和6年度末現在高についてご説明いたします。

まず、港湾管理特別会計では9,733万8,000円で前年度と比較し1,089万9,000円の減少、国民健康保険事業勘定特別会計では108万8,000円で108万3,000円の減少、1つ飛びまして、介護サービス事業特別会計では7億3,020万円で6億7,070万円の増加、さらに1つ飛びまして、病院事業債管理特別会計は2億4,330万2,000円で3,095万7,000円の減少であります。特別会計全体では、令和6年度末残高10億7,192万8,000円で6億2,776万1,000円の増加であります。

次に、一番下の表、5の特別会計等への繰出金及び補助金（企業会計）決算額の状況であります。記載のとおり、それぞれの会計で増減しておりますので、後ほどご確認をお願いいたします。

以上が、令和6年度の一般会計及び各特別会計の決算概況であります。

それでは、次に、監査委員からの決算書の意見書が提出されておりますので、別冊の令和6年度広尾町一般会計及び特別会計決算審査意見書並びに広尾町基金運用状況審査意見書をお手元にご用意ください。

こちらの意見書の1ページをお開きいただきたいと思います。

下のほう、5の審査の結果であります。

令和6年度広尾町各会計決算額は、関係帳簿及び証書類と照合し、相違ないことを確認した。また、予算の執行、収入支出及び財産の管理並びに財務に関わる事務は適正に執行されたものと認めるとされているのが監査委員の審査結果であります。

次に、12ページをお願いいたします。

令和6年度広尾町基金運用状況の審査意見書であります。

広尾町の各基金の関係でありまして、下の3の審査の結果であります。令和6年度基金運用状況については、関係帳簿及び証書類と照合し、相違ないことを確認した。基金運用の計数は次表のとおりであり、基金の目的に沿って適正に運用されたものと認めるとされているものであります。

次に、認定第8号の水道事業会計の決算についてご説明します。

令和6年度広尾町水道事業会計決算書をご用意いたします。

水道事業会計決算書の16ページをお開きください。

(1)、総括事項により、決算の報告をいたします。

令和6年度における水道事業は、給水世帯数が前年度より10世帯減の3,101世帯、給水人口は5,773人となりました。有収水量は、給水人口が減少したものの、家畜頭数の増加や温暖化の影響により1頭当たりの飲水量が増加したことなどから、1万5,470立方メートル増の99万1,924立方メートルとなりました。

上水道使用料の収納率は、現年度分99%で前年度比1.3ポイントの増、過年度分79.2%で前年度比21.5ポイントの増、全体では98.4%で前年度比1.6ポイントの増となり、滞納額は前年度比159万6,264円減の171万6,946円となったところであります。

簡易水道使用料の収納率は、現年度分99.5%で前年度比0.2ポイントの増、過年度分93.3%で前年度比3.2ポイントの増、全体では99.5%で前年度比0.2ポイントの増となり、滞納額は前年度比10万7,340円減の35万6,304円となったところであります。

有収率は、既設老朽配水管の布設替えを行い、漏水個所の修繕に努めたものの、前年度比2.3ポイント減の79.2%となりました。

建設改良については、有効期間が満了する量水器の更新をはじめ、老朽化した配水管の改良工事や計装設備の更新などを行いました。

経営状況は、地方公営企業の基本原則に立脚し経済性を発揮するとともに、公共の福祉の増進に努め、収益的収支は税抜きで、水道事業収益3億1,940万7,880円に対し、水道事業費用3億706万1,993円で、差引き1,234万5,887円の当年度純利益となりました。

また、資本的収支については、収入額1,428万3,000円に対し、支出額1億5,051万1,208円で、資本的収支不足額1億3,622万8,208円は、当年度分消費税資本的収支調整額895万9,136円、過年度損益勘定留保資金4,693万2,340円、当年度損益勘定留保資金5,844万1,169円、利益剰余金2,189万5,563円で補填いたしました。

続きまして、認定第9号の下水道事業の会計の決算であります。

お手元の令和6年度広尾町下水道事業会計決算書をご用意いただきまして、18ページをお開きください。

(1)、総括事項により、決算の報告をいたします。

令和6年度における下水道事業は、水洗化世帯数が前年度より36世帯減の2,460世帯、水洗化人口は4,545人となりました。有収水量は、水洗化人口の減少などにより7,310立方メートル減の41万9,736立方メートルとなりました。

下水道使用料の収納率は、現年度分90.4%で前年度比0.1ポイントの増、過年度分96.1%で前年度比2.9ポイントの増、全体として91%で前年度比0.4ポイントの増となり、滞納額は前年度比42万7,066円減の884万5,226円となったところであります。

個別排水使用料の収納率は、現年度分90.6%で前年度比6.9ポイントの増、過年度分100%で増減なし、全体として91.9%で前年度比6.9ポイントの増となり、滞納額は前年度比59万2,405円減の83万4,350円となったところであります。

建設改良については、ストックマネジメント計画に基づく下水終末処理場機械・電気設備の更新工事及び個別排水処理施設整備工事を行いました。

経営状況は、地方公営企業の基本原則に立脚し経済性を発揮するとともに、公共の福祉の増進に努め、収益的収支は、税抜きで公共下水道事業収益及び個別排水処理事業収益3億8,652万3,781円に対し、公共下水道事業費用及び個別排水処理事業費用3億1,137万4,455円で、差引き7,514万9,326円の当年度純利益となりました。

また、資本的収支については、収入額1億4,658万1,700円に対し、支出額3億1,542万8,702円で、資本的収支不足額1億6,884万7,002円は、当年度分消費税資本的収支調整額642万7,337円、当年度損益勘定留保資金1億219万3,901円、利益剰余金6,022万5,764円で補填いたしました。



次に、公営企業会計における監査委員からの意見書についてご報告いたします。

別冊の令和6年度広尾町公営企業会計決算審査意見書をご用意ください。

こちらにつきましては、水道事業会計及び下水道事業会計に対する審査の結果であります。

意見書の資料の1ページをお願いいたします。

下の5の審査の結果であります。

令和6年度広尾町各公営企業会計決算額は、関係帳簿及び証書類と照合し、相違ないことを確認した。

予算の執行、収入支出及び財産の管理並びに財務に関わる事務は適正に執行されたものと認めたとされているものであります。

以上で、認定第1号から認定第9号までの補足説明を終わります。

各会計における各事業におきまして一定の推進ができましたことは、ひとえに町民の皆様、議員各位の多大なご指導、ご理解、ご協力のたまものであります。改めて厚くお礼と感謝の意を表す次第であります。重ねまして、認定方よろしくお願い申し上げます。

1、議長（堀田） これをもって提案理由の説明を終わります。

お諮りします。本件9件は、議長と議会選出監査委員を除く11名をもって構成する決算審査特別委員会を設置し、これに付託の上、審査することとし、委員会には必要に応じて地方自治法第98条による検閲検査請求権を付与しておきたいと思いますが、これにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

異議なしと認めます。

よって、本件9件は、決算審査特別委員会に付託の上、審査することに決しました。

ここで、委員会の委員長、副委員長を互選するため、決算審査特別委員会の開催を願います。

委員会条例第9条第2項の規定により、年長であります渡辺富久馬議員に臨時委員長をお願いします。

決算審査特別委員会開催のため、本会議を休憩します。

午後 1時22分 休憩

午後 1時27分 再開

本会議を再開します。

諸般の報告をします。

先ほど設置されました決算審査特別委員会が休憩中に開催され、正副委員長の互選がなされた旨通知がありましたので、報告します。

委員長には志村國昭議員、副委員長には斎藤弘樹議員が互選されました。

以上で、諸般の報告を終わります。

◎日程第19 同意第1号

- 1、議長（堀田） 日程第19、同意第1号 広尾町教育委員会委員の任命についてを議題とします。  
提出者に提案理由の説明を求めます。

田中町長、登壇願います。

- 1、町長（田中） 同意第1号 広尾町教育委員会委員の任命について提案理由を申し上げます。

現在、広尾町教育委員会委員であります大森敬子氏が本年11月30日をもって任期満了となります。大森氏には、平成17年12月から20年にわたり委員として長い間ご尽力をいただきました。この場をお借りして厚くお礼を申し上げるところであります。

つきましては、後任として小柳かおり氏を委員に任命いたしたく、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第4条第2項の規定により、議会の同意を求めるものであります。

小柳氏は、昭和41年のお生まれで、昭和59年に広尾町内でそろばん教室を開校し、現在に至るまで幅広い年代の子どもたちへの指導を続けられております。そろばん教育を通じて子どもたちの学力、人間力の向上に大きく寄与されているほか、多くの受講生が各種大会で優秀な成績を収めており、広尾町の文化賞受賞者も多数輩出されております。温厚、公正な人柄で、長年の指導経験により培われた豊かな教養と教育活動に関する優れた識見を有していることから、委員として適任であると考え、任命を提案するものであります。

なお、任期につきましては、令和7年12月1日から令和11年11月30日までの4年間であります。

以上、提案理由の説明といたします。ご同意方よろしくお願い申し上げます。

- 1、議長（堀田） これをもって提案理由の説明を終わります。

本件は人事案件でありますので、広尾町議会の運営に関する基準に基づき、質疑及び討論を省略します。

これより同意第1号 広尾町教育委員会委員の任命についてを採決します。

お諮りします。本件は、提案のとおり同意することにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

異議なしと認めます。

よって、本件は同意することに決しました。

◎日程第20 同意第2号

- 1、議長（堀田） 日程第20、同意第2号 広尾町固定資産評価審査委員会委員の選任についてを議題とします。

提出者に提案理由の説明を求めます。

田中町長、登壇願います。

- 1、町長（田中） 同意第2号 広尾町固定資産評価審査委員会委員の選任について提案理由を申

し上げます。

現在、広尾町固定資産評価審査委員会委員であります山川揚大氏が本年10月3日をもって任期満了となりますが、引き続き同氏を委員に選任いたしたく、地方税法第423条第3項の規定により議会の同意を求めるものであります。

山川氏は、昭和38年のお生まれで、平成10年に司法書士の登録をなされ、現在は本通3丁目において司法書士事務所を経営されております。山川氏には平成13年から広尾町固定資産評価審査委員会委員をお願いし今日に至っておりまして、固定資産全般にわたって豊富な識見を有していることから、委員として適任であると考え、選任を提案するものであります。

なお、任期につきましては、令和7年10月4日から令和10年10月3日までの3年間であります。

以上、提案理由とさせていただきます。ご同意方よろしくお願いを申し上げます。

1、議長（堀田） これをもって提案理由の説明を終わります。

本件は人事案件でありますので、広尾町議会の運営に関する基準に基づき、質疑及び討論を省略します。

これより同意第2号 広尾町固定資産評価審査委員会委員の選任についてを採決します。

お諮りします。本件は、提案のとおり同意することにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

異議なしと認めます。

よって、本件は同意することに決しました。

#### ◎日程第21 議案第64号

1、議長（堀田） 日程第21、議案第64号 広尾町議会議員及び広尾町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正についてを議題とします。

提出者に提案理由の説明を求めます。

田中町長、登壇願います。

1、町長（田中） 議案第64号 広尾町議会議員及び広尾町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正について提案理由を申し上げます。

本案は、最近における物価の変動等に鑑み、公職選挙法施行令で定められている衆議院及び参議院議員の選挙における選挙運動費用の公営に要する経費の限度額が引き上げられたことに伴いまして、条例において公費負担対象としている選挙運動用ビラの作成に係る単価の限度額を同様に引き上げる改正をしたいとするものであります。

議案資料の1ページに新旧対照表がございます。ご確認をいただきたいと思います。

なお、本改正条例は、附則におきまして公布の日から施行したいとするものであります。

以上、提案理由とさせていただきます。議決方よろしくお願いを申し上げます。

1、議長（堀田） これをもって提案理由の説明を終わります。

これより質疑に入ります。本案に対する質疑の発言を許します。

（「なし」の声あり）

別になければ、以上で質疑を終結します。

お諮りします。本案は討論を省略したいと思いますが、これにご異議ありませんか。

（「なし」の声あり）

異議なしと認めます。

よって、本案は討論を省略します。

これより議案第64号 広尾町議会議員及び広尾町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正についてを採決します。

お諮りします。本案は、原案のとおり決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

異議なしと認めます。

よって、本案は原案のとおり可決されました。

#### ◎日程第22 議案第65号～日程第24 議案第67号

1、議長（堀田） 日程第22、議案第65号 北海道市町村総合事務組合規約の変更についてから日程第24、議案第67号 北海道町村議会議員公務災害補償等組合規約の変更についてまでの3件を一括議案とします。

提出者に提案理由の説明を求めます。

田中町長、登壇願います。

1、町長（田中） 議案第65号 北海道市町村総合事務組合規約の変更についてから議案第67号 北海道町村議会議員公務災害補償等組合規約の変更についてまでの3件について、一括して提案理由を申し上げます。

本案は、本町が加入するそれぞれの一部事務組合から江差町・上ノ国町学校給食組合が脱退したことに伴い、規約の変更について協議が必要となったものであります。

本規約の変更には、地方自治法第286条第1項の規定により、関係地方公共団体の議会の議決を経ることが必要とされておりますので、提案申し上げるものであります。

議案資料の2ページから4ページにそれぞれの規約の新旧対照表がありますので、ご確認をいただきたいと思います。

以上、提案理由とさせていただきます。議決方よろしくお願い申し上げます。

1、議長（堀田） これをもって提案理由の説明を終わります。

これより質疑に入ります。本案3件に対する質疑の発言を許します。

（「なし」の声あり）

別になければ、以上で質疑を終結します。

お諮りします。議案第65号 北海道市町村総合事務組合規約の変更についてから議案第67号 北海道町村議会議員公務災害補償等組合規約の変更についてまでの3件を一括して討論、採決したいと思います。これにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

異議なしと認めます。

よって、議案第65号から議案第67号までの3件を一括して討論、採決することに決しました。

お諮りします。本案3件は討論を省略したいと思います。これにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

異議なしと認めます。

よって、本案3件は討論を省略します。

これより議案第65号 北海道市町村総合事務組合規約の変更についてから議案第67号 北海道町村議会議員公務災害補償等組合規約の変更についてまでの3件を一括採決します。

お諮りします。本案3件は、原案のとおり決することにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

異議なしと認めます。

よって、本案3件は原案のとおり可決されました。

#### ◎日程第25 議案第68号～日程第33 議案第76号

1、議長（堀田） 日程第25、議案第68号 令和7年度広尾町一般会計補正予算（第2号）についてから日程第33、議案第76号 令和7年度広尾町下水道事業会計補正予算（第2号）についてまでの9件を一括議題とします。

提出者に提案理由の説明を求めます。

田中町長、登壇願います。

1、町長（田中） 議案第68号 令和7年度広尾町一般会計補正予算（第2号）から議案第76号 令和7年度広尾町下水道事業会計補正予算（第2号）まで、一括して提案理由を申し上げます。

議案書19ページをお願いいたします。

初めに、議案第68号についてであります。

本案は、令和7年度広尾町一般会計補正予算（第2号）は、次に定めるところによるものです。

第1条は、歳入歳出予算の総額にそれぞれ1億7,464万5,000円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ82億6,979万円とするものであります。

第2項につきましては、補正後の歳入歳出予算の金額は、「第1表 歳入歳出予算補正」によるものです。

第2条は、地方債の補正でありまして、地方債の変更を第2表でお示しするものであります。

飛びまして、次に23ページをお願いいたします。

第2表、地方債補正の変更であります。

限度額の変更でありまして、緊急防災・減災事業債につきましては、高機能消防指令システム・消防救急デジタル無線機器整備事業債の増額、過疎対策事業債につきましては、国庫補助金の交付決定に伴う十勝港港湾監視ＣＣＴＶ設備整備事業債及び十勝港防げん材整備事業債の追加であります。町債の合計から1,670万円を追加し、5億3,300万円とするものであります。

なお、歳入歳出の詳細につきましては、総務課長のほうより補足説明をいたさせます。

次に、24ページをお願いいたします。

議案第69号についてであります。

本案は、令和7年度広尾町港湾管理特別会計補正予算（第1号）は、次に定めるところによるものであるものとします。

第1条は、歳入歳出予算の総額にそれぞれ137万6,000円を追加し、歳入歳出の総額をそれぞれ1億627万6,000円とするものであります。

第2項につきましては、補正後の歳入歳出予算の金額は、「第1表 歳入歳出予算補正」によるものであるものとします。

次のページをお願いいたします。

補正の歳入であります。

2款1項繰越金の追加は、前年度繰越金の確定によるものであります。

次に、歳出であります。1款1項港湾管理費は、一般会計繰出金の整理であります。

2款1項上屋管理費は、消耗品費の追加、3款1項公債費は、借入利率の確定に伴う長期債償還利子の追加であります。

次に、27ページをお願いいたします。

議案第70号についてであります。

本案は、令和7年度広尾町国民健康保険事業勘定特別会計補正予算（第2号）は、次に定めるところによるものであるものとします。

第1条は、歳入歳出予算の総額にそれぞれ1,050万1,000円を追加し、歳入歳出の総額をそれぞれ9億4,731万円とするものであります。

第2項につきましては、補正後の歳入歳出予算の金額は、「第1表 歳入歳出予算補正」によるものであるものとします。

次のページをお願いいたします。

補正の歳入であります。

4款1項繰入金は、一般会計繰入金を整理するものであります。

5款1項繰越金は、前年度繰越金の確定によるものであります。

次に、歳出であります。

1款1項総務管理費は、印刷製本費の追加であります。

3款1項国民健康保険事業納付金は、財源内訳の補正、6款2項特定健康診査等事業費は、保健

指導分析ツール使用料の整理であります。

8 款 1 項償還金及び還付金は、療養給付費交付金等返還金の確定に伴う追加であります。

次に、30ページをお願いいたします。

議案第71号についてであります。

本案は、令和7年度広尾町介護保険特別会計補正予算（第2号）は、次に定めるところによるものであります。

第1条は、歳入歳出予算の総額にそれぞれ2,723万5,000円を追加し、歳入歳出の総額をそれぞれ7億920万6,000円とするものであります。

第2項につきましては、補正後の歳入歳出予算の金額は、「第1表 歳入歳出予算補正」によるものであります。

次のページをお願いいたします。

歳入につきましては、確定見込みによる交付金の整理及び前年度繰越金の確定に伴い、一般会計繰入金を整理したものであります。

次に、歳出であります。

1 款 3 項介護認定審査会費は、会計年度任用職員人件費の追加であります。

2 款 1 項介護サービス等諸費につきましては、財源内訳の補正であります。

5 款 1 項償還金及び還付加算金は、前年度分の介護給付費及び地域支援事業交付金等の精算確定による国及び道交付金等の返還金を計上するものであります。

続きまして、33ページをお願いいたします。

議案第72号についてであります。

本案は、令和7年度広尾町介護サービス事業特別会計補正予算（第2号）は、次に定めるところによるものであります。

第1条は、歳入歳出予算の総額にそれぞれ5万1,000円を追加し、総額をそれぞれ3億2,790万5,000円とするものであります。

第2項につきましては、補正後の歳入歳出予算の金額は、「第1表 歳入歳出予算補正」によるものであります。

次のページをお願いいたします。

補正の歳入であります。

2 款 1 項繰入金は、一般会計繰入金を整理したものであります。

3 款 1 項繰越金は、前年度繰越金の確定によるものであります。

次に、歳出であります。

1 款 1 項施設介護サービス事業費は、研修会参加負担金の追加であります。

2 款 1 項利子は、借入利率の確定に伴う長期債償還利子の追加であります。

次に、36ページ、議案第73号についてであります。

本案は、令和7年度広尾町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）は、次に定めるところによるものであります。

第1条は、補正後の歳入予算の金額は、「第1表 歳入予算補正」によるとするものであります。次のページをお願いいたします。

補正の内容であります。前年度繰越金の確定に伴い、一般会計繰入金を整理したものであります。

次に、38ページをお願いいたします。

議案第74号についてであります。

本案は、令和7年度広尾町病院事業債管理特別会計補正予算（第1号）は、次に定めるところによるとするものであります。

第1条は、歳入歳出予算の総額にそれぞれ122万2,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を1億2,206万円とするものであります。

第2項につきましては、補正後の歳入歳出予算の金額は、「第1表 歳入歳出予算補正」によるとするものであります。

補正の内容は、借入利率の確定等に伴う公債費の整理であります。

次に、41ページであります。

議案第75号についてであります。

第1条は、令和7年度広尾町水道事業会計補正予算（第2号）は、次に定めるところによるとするものであります。

第2条は、収益的収入及び支出の予定額を次のとおり補正するものでありまして、収入で第1款第2項営業外収益から9万7,000円を減額し、第2款第2項営業外収益に260万5,000円を追加するものであります。

次に、支出であります。

第2款第1項営業費用に260万5,000円を追加するものであります。

補正の内容であります。

収入であります。

第1款第2項営業外収益は、基本料金減免に係る事業費の確定に伴う他会計負担金の整理であります。

第2款第2項営業外収益は、事業費の追加及び基本料金減免に係る事業費の確定に伴う他会計負担金の整理であります。

次に、支出であります。

第2款第1項営業費用は、施設維持管理用軽油の追加、簡易水道本管漏水修繕をはじめとした修繕費の追加であります。

第3条は、他会計からの補助金でありまして、「58,169千円」に改めるものであります。

次に、42ページ、議案第76号についてであります。

第1条は、令和7年度広尾町下水道事業会計補正予算（第2号）は、次に定めるところによるとするものであります。

第2条は、収益的収入及び支出の予定額を次のとおり補正するものでありまして、収入で第1款



第2項営業外収益に53万2,000円を追加し、第2款第2項営業外収益に1万5,000円を追加するものであります。

次に、支出であります。

第1款第1項営業費用に37万1,000円を追加し、同款第2項営業外費用に6万6,000円を追加し、第2款第2項営業外費用に1万5,000円を追加するものであります。

補正の内容であります。

収入につきましては、他会計負担金の整理であります。

支出につきましては、パソコンサービス手数料及び修繕費の追加、確定に伴う企業債利息の追加であります。

第3条は、資本的支出であります。が、予算第4条本文括弧書き中をおのおの改め、資本的支出の予定額を次のとおり補正とするものでありまして、確定に伴う元金償還金の追加であります。

第4条は、他会計からの補助金でありまして、「202,328千円」に改めるものであります。

以上で、議案第68号から議案第76号までの補正予算についての提案理由とさせていただきます。議決方よろしくお願い申し上げます。

1、議長（堀田） 次に、補足説明をさせます。

山崎総務課長。

1、総務課長（山崎） それでは、一般会計補正予算（第2号）につきまして、事項別明細書によりご説明申し上げます。

初めに、歳出からご説明いたしますので、事項別明細書の6ページをお願いいたします。

6ページの上段、2款総務費、1項総務管理費、1目一般管理費、1節報酬であります。が、当初見込みより委員数が増えたことによります行政改革推進委員会委員報酬を追加するものでございます。2目庁舎管理費、10節需用費は、庁舎設備及び施設の小破修繕料であります。11節の役務費につきましては、修繕に向けた庁舎設備検査手数料を計上したものでございます。3目財務管理費につきましては、前年度繰越金の確定に伴いまして減債基金への積立てをするものでございます。4目会計管理費であります。が、指定金融機関の変更に伴います収納事務用備品を整備するものでございます。7目企画費につきましては、地域おこし協力隊員が実施いたします事業に対する活動支援交付金の追加、また、新たに広尾町移住支援金を計上するものでございます。8目ふれあい活動費は、広報取材用消耗品を追加するものでございます。

7ページ、9目防災対策費、11節役務費は、防災機器用通信料の追加、また、18節負担金補助及び交付金は、防災用トランシーバーの整備に伴います電波利用料負担金を追加するものでございます。12目中川一郎記念館管理費は、検査手数料の値上がりに伴います補正でございます。3項1目戸籍住民基本台帳費は、整備いたしました戸籍総合システムの償還金額の確定に伴いまして追加補正をするものでございます。5項統計調査費、1目統計調査総務費は、事業費の確定見込みにより整備及び組替えを行ったものでございます。

8 ページをお願いいたします。

3 款民生費、1 項社会福祉費、1 目社会福祉総務費は、返還額の確定に伴います過年度分国庫補助金返還金の追加、また、特別会計の補正に伴います繰出金の減額整理を行ったものでございます。

2 目社会福祉施設費は、各施設の消防設備点検に伴います修繕料及び公衆浴場シャワー修繕料を追加したものでございます。

9 ページ、3 目養護老人ホーム施設費、10 節需用費は、施設消防設備などの修繕料及び業務用機器の修繕料を追加してございます。12 節委託料につきましては、防火シャッターの点検検査委託料を追加してございます。4 目障害者母子福祉費は、法改正に伴います障がい者福祉システム改修委託料の追加及び過年度分補助金等返還額の確定に伴います補正でございます。6 目老人福祉費は、特別会計の補正に伴います繰出金の整理でございます。7 目生活支援ハウス施設費は、浴場設備及びボイラーの修繕料を追加したものでございます。8 目後期高齢者医療費は、特別会計の補正に伴います繰出金を整理したものでございます。

次のページ、10 ページをお願いいたします。

11 目定額減税調整給付金給付事業費であります。支給対象者が増加する見込みであることから、給付金をはじめとする事業費を追加してございます。また、事務費の交付決定があったことから、職員の時間外勤務手当を追加しております。中段、2 項児童福祉費、2 目保育所費、こちらの備考欄、02 保育所施設費、10 節需用費につきましては、豊似保育所の火災報知設備修繕料を追加してございます。備考欄、04 会計年度任用職員人件費につきましては、会計年度任用職員の保育士 2 名分を補正したものでございます。

11 ページの 3 目子育て支援センター運営費につきましては、標準報酬月額の設定に伴います会計年度任用職員共済費を追加したものでございます。4 目放課後児童健全育成費は、標準報酬月額の設定に伴います会計年度任用職員共済費の追加及び返還金額の確定に伴います過年度分交付金返還金の追加でございます。

下段の 4 款衛生費、1 項保健衛生費、1 目保健衛生総務費、18 節負担金補助及び交付金の減額であります。12 ページのほうをお願いいたします。上段、説明欄であります。南十勝複合事務組合負担金の減額であります。こちらにつきましては、えりも町からの可燃ごみ受入れ単価改定に伴います補正でございます。また、あわせまして、水道事業会計の補正に伴います補助金を追加したものでございます。27 節繰出金につきましては、病院事業債管理特別会計の補正に伴います繰出金の追加でございます。2 目環境衛生費につきましては、スズメバチ駆除件数の増に伴います昆虫等駆除委託料を追加したものでございます。

中段の 5 款農林水産業費、1 項農業費、3 目農業振興費につきましては、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の推奨事業メニュー分を活用いたしました家畜防疫資材・暑熱対策資材等高騰対策支援事業補助金を計上したものでございます。6 目の農地費につきましては、農業施設及び明渠排水施設の維持補修工事費を追加してございます。7 目農村環境改善センター費につきましては、高圧受電設備改修工事により処分が必要となりました低濃度 PCB 処理手数料及び運搬委託料を追加したものでございます。

次に、13ページの2項林業費、1目林業総務費であります。緊急銃猟時補償費用保険料を追加したものでございます。5目の野塚交流館費につきましては、地域おこし協力隊員が使用いたしますレーザー加工機購入費の計上でございます。3項水産業費、3目水産業施設費、10節需用費は、漁村環境改善センター消防設備修繕料の追加、また、14節工事請負費につきましては、雨水などで浸食されました谷磯海産干場法面補修工事を計上したものでございます。4目増養殖研究費、こちらの備考欄の01増養殖研究費は、施設の消防設備修繕料を追加したもの、また、02会計年度任用職員人件費につきましては、任用時期の遅れから今回整理を行ったものでございます。

14ページをお願いいたします。

6款1項商工費、4目勤労青少年ホーム費は、消防用設備修繕料の計上であります。

7款土木費、1項土木管理費、1目土木総務費は、財源内訳の補正でございます。2項道路橋りょう費、1目道路橋りょう維持費は、補修箇所増に伴います道路補修工事費を追加したものでございます。3項港湾費、1目港湾総務費は、ポートセールス資料の作成に伴いますカラー複合機使用料を増額したものでございます。2目の港湾管理費につきましては、財源内訳を補正してございます。

15ページの中段、4項都市計画費、2目の都市計画施設費につきまして、12節の委託料であります。公園整備に係る公園遊具積算資料作成委託料の計上、18節負担金補助及び交付金につきましては、下水道事業会計の補正に伴います補助金の追加でございます。5項住宅費、1目住宅管理費は、公用車両のスタッドレスタイヤ更新費用を追加したものでございます。

ページの一番下段の8款1項消防費、1目常備消防費は、財源内訳の補正でございます。

次のページをお願いいたします。

3目の消防施設費につきましては、消防庁舎トイレの修繕料を追加してございます。

9款教育費、2項小学校費及び次の3項の中学校費であります。新たなGIGAスクール端末への移行が完了するまでの間、既存の端末を使用するために、OSのセキュリティープログラムを延長するための委託料を計上したものでございます。4項社会教育費、1目社会教育総務費は、作業時間数の増に伴います草刈り等の環境整備作業員報酬を追加してございます。2目公民館費、10節需用費であります。こちらにつきましては、17ページの上のほうになります。需用費につきましては、公民館施設の消防設備修繕料を追加したものでございます。3目図書館・児童福祉会館費につきましては、自動火災報知機修繕料を追加したものでございます。4目海洋博物館・伝習館費であります。施設の消防設備修繕料のほか、施設網戸設置工事費の追加、また、学芸員として地域おこし協力隊員を募集するための人件費及び活動支援交付金を補正してございます。5項保健体育費、2目体育施設費は、豊似プール天窓の修繕料の追加、また、高齢者健康増進センター避難誘導灯などの修繕料を補正してございます。

次のページをお願いいたします。

6項1目学校給食費であります。施設空調機及び消防設備修繕料を追加してございます。また、事務補助員の採用に伴います会計年度任用職員人件費の追加補正をしてございます。

11款1項公債費であります。令和6年度借入額の確定に伴います元金及び利子を整理したものの、

また、港湾借換債の借入利率見直しに伴います利子の追加補正でございます。

12款予備費につきましては、予算総額の調整でございます。

次に、補正予算の歳入をご説明申し上げます。

事項別明細書の3ページをお願いいたします。

歳入、9款1項1目地方特例交付金につきましては、交付額の確定通知によりまして追加をしたものでございます。

10款1項1目地方交付税につきましては、行政報告もさせていただいてございますが、普通地方交付税の額の確定に伴います追加でございます。

14款1項国庫負担金、1目の民生費国庫負担金につきましては、事業費の確定見込みによる介護保険低所得者保険料軽減負担金を追加したものでございます。2項国庫補助金、1目総務費国庫補助金は、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の推奨事業分の交付額の確定による追加でございます。こちらにつきましては、農業振興費のほうに充当させていただいてございます。2目民生費国庫補助金につきましては、システム改修事業に充当する障害者総合支援事業費補助金、また、給付金事業費の増に伴います物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の定額減税不足額給付分を増額補正したものでございます。4目土木費国庫補助金は、国からの交付額確定通知に伴います社会資本整備総合交付金事業補助金を減額整理してございます。

15款2項道補助金であります、広尾町移住支援金事業費の計上に伴いまして、北海道移住支援金交付事業費補助金を補正したものでございます。

次のページ、4ページをお願いいたします。

3項道委託金、1目総務費道委託金は、事業費の確定見込みによります統計調査委託金の整理を行ってございます。

18款1項1目繰入金につきましては、事業費の増に伴います中川一郎記念館管理運営基金繰入金を追加したものであります。2項の特別会計繰入金、1目の港湾管理特別会計繰入金は、港湾管理特別会計の補正に伴います繰入金の整理でございます。

19款1項1目繰越金につきましては、令和6年度の決算に伴い繰越金を補正したものであります。

20款諸収入、5項2目の雑入は、公有物件建物災害共済金の追加、また、過年度分の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の追加交付による補正でございます。

21款1項の町債、2目の消防債につきましては、起債の借入れ手続の一本化に伴いまして、緊急防災・減災事業債の借入額が増額補正となったものでございます。4目の辺地及び過疎対策事業債につきましては、港湾整備事業に係る国庫補助金の減額に伴いまして、それぞれ過疎対策事業債を増額したものでございます。

以上で、補足説明を終わります。よろしくをお願いいたします。

1、議長（堀田） 次に、寺井農林課長。

1、農林課長（寺井） 私のほうから、農林課予算について補足説明をさせていただきます。

議案資料の5ページをお願いいたします。

広尾町家畜防疫資材・暑熱対策資材等高騰対策支援事業補助金になります。

#### 1、目的。

現在、本町では家畜伝染病（ヨーネ病）が蔓延しており、清浄化に向けた取組が長期化し、畜産農家は不安を募らせております。また、原油価格・物価上昇により、農畜産経営に必要な家畜防疫資材・暑熱対策資材等が高騰していることから、本町の農畜産業の経営を支援するため、広尾町農業協同組合が事業の実施主体となり行う事業に要する経費につきまして支援をすることを目的としております。

#### 2、事業実施主体になります。

広尾町農業協同組合、以下「農協」といいます。

#### 3 番目、補助対象事業等になります。

町は、農協が実施する次の対策事業に対して補助し、町内の生産者を支援します。ただし、補助額は700万円を上限とし、予算の範囲内で補助します。

次のページになります。

##### （1）、家畜防疫資材高騰対策事業。

農協の定める基準により、家畜防疫資材等の購入に対しまして、25%を補助します。ただし、1戸10万円が上限となります。農協の負担が25%、町の負担が25%、受益者の負担が50%となっております。

事業の内容につきましては、飼養管理の家畜防疫対策に資する購入費用等になります。

①としまして消毒資材、②としまして鳥獣害防止資材、③としまして牛舎消毒などの事業の内容となります。

##### （2）として、暑熱対策資材高騰支援事業になります。

農協の定める基準により、暑熱対策資材等の購入に対しまして、15%を補助します。ただし、1戸25万円を上限とします。農協の負担が15%、町の負担が15%、受益者の負担が70%となります。

次のページをお願いします。

事業の内容になります。暑熱対策資材購入及び換気扇等の費用になります。①の換気扇から⑦のその他などの事業内容になります。

続きまして、4 番目、交付対象者の要件です。

次の全てを満たす者となります。

1 つ、町内に住所を有し、町内で農畜産業を営む個人及び法人です。

1 つ、支援を受けた後も農業または畜産経営を継続する意思のある者。

1 つ、暴力団、暴力団員もしくは暴力団員等でないこと、または暴力団等と密接な関係を有しておらず、もしくは支配を受けていない者。

1 つ、本町から賦課されている町税等を滞納していない者。

5 番目につきましては、事業の流れになります。

生産者が積算基礎データの報告を農協に行います。農協が町に対しまして交付申請を行い、町が

農協に対しまして補助金を交付します。農協が生産者に支援金を給付するという流れになります。

続きまして、8ページ、緊急銃猟時補償費用保険料について補足説明をさせていただきます。

まず、背景になります。

近年、熊等の人の日常生活圏への侵入が相次いでおり、令和5年度には熊による人身被害の件数が過去最多を記録しました。令和7年4月に鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律が一部改正され、市町村長は、危険鳥獣（熊等）が人の日常生活圏に侵入し、危険鳥獣による人の生命・身体への危害を防止する措置が緊急に必要で、銃猟以外の方法では的確かつ迅速に危険鳥獣の捕獲等を行うことが困難であり、避難等によって地域住民等に弾丸が到達するおそれがない場合には、危険鳥獣の銃猟を捕獲者に委託して実施させることができることになりました。

なお、緊急銃猟の実施に伴う損失（物損）につきましては、市町村長が補償することと規定されております。

また、令和7年7月に環境省は、緊急銃猟の実地権者である市町村が緊急銃猟の流れを理解し、現場で安全に緊急銃猟を行うことができるよう支援することを目的として、緊急銃猟ガイドラインを作成いたしました。

続きまして、2番、目的です。

緊急銃猟時補償費用保険への加入により、緊急銃猟時に生じることが想定される補償に対応することを目的としております。

次のページをお願いいたします。

3、補償の概要です。

保険金額は支払い限度額3,000万円。1事故当たり、かつ保険期間中の限度額になります。

続きまして、保険期間と保険料になります。

令和7年度の保険料は10万円。

令和8年度の保険料につきましては、町内での令和7年度の熊の目撃件数により算定を行うようです。

保険満期は、令和8年6月1日の16時までとなっております。

4番目、保険金支払いの要件と注意点になります。

1つ、事故対応時、緊急銃猟を法規定に遵守して実施すること。

1つ、事故報告時、ガイドライン掲載のチェックシートと緊急銃猟時の写真や動画を提出すること。

1つ、チェックリスト項目の一部を満たさない銃猟や、対人事故は当保険の補償対象外となります。

補足説明は以上になります。

1、議長（堀田） これをもって提案理由の説明を終わります。

お諮りします。審議の方法は、一般会計から各会計ごとに行いたいと思いますが、これにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

異議なしと認め、一般会計から各会計ごとに審議を行います。

申し上げます。本案9件については、会議規則第55条の質疑回数の規定を適用せず審議することといたします。

これより審議に入りますが、その前に休憩します。

午後 2時14分 休憩

午後 2時25分 再開

本会議を再開します。

審議に入る前に、諸般の報告をいたします。

5番、山岸議員と11番、渡辺議員から早退の届出がありますので、ご報告をいたします。

それでは、審議に入ります。

初めに、議案第68号 令和7年度広尾町一般会計補正予算（第2号）についてを審議します。

初めに、歳出に対する質疑の発言を許します。

4番、雄谷議員。

1、4番（雄谷） 事項別明細書の17ページになります。4目海洋博物館・伝習館費です。説明がありましたとおり、地域おこし協力隊を募集するということだと思うのですが、特交での財源措置があるから地域おこし協力隊で募集するのかなと思うのですが、例えば町内だとか近隣町村で学芸員の資格を持っている人がいたら応募できないですね。聞くところによると、4日間の勤務ということで、そういうことで報酬だよと。会計年度任用職員のほうも、フルタイムであれば給料なのだけれども、フルタイムでなかったら報酬でいいよということであれば、このまま報酬の予算措置の状況で地域おこし協力隊と会計年度任用職員のパート、2本立てで募集することも考えられないのかなと思うのですが、いかがですか。

1、議長（堀田） 村中社会教育課長。

1、社会教育課長（村中） 雄谷議員のご質問にお答えします。

学芸員の関係、地域おこし協力隊として募集するということだったのですが、まず、広く地域、全国から学芸員を募集したいという思いがありまして、まず、この地域おこし協力隊で募集させていただきました。現在、ほかの道内でありまして管内でありますとかで、学芸員を募集する際には、この制度を結構活用していきまして、そのことを参考にして、今回、本町でも同様にこの制度を活用していきたいというふうに考えて計上させていただいたところです。

以上です。

1、議長（堀田） 4番、雄谷議員。

1、4番（雄谷） ということであれば、地域おこし協力隊にもう限定して、限ってと。先ほど言ったように、近隣町村とか近場にもしかしているという可能性は完全に、そこはもう諦めていくよというようなことなのでしょうか。

1、議長（堀田） 村中社会教育課長。

1、社会教育課長（村中） 今の関係ですけれども、地域のことを諦めてという感じではなかったのですけれども、取りあえず、今年度、半年のことなので、まず地域おこし協力隊として募集をかけてみたいというところがありまして、それで職員採用の、正職員の関係だと町部局と結構相談しながらやっていかなければいけないと思うので、正職員といいますか、二重で計上するという形になりますと、またちょっと協議が必要だということになりますので、取りあえず、今、現状では、まず地域おこし協力隊として募集をかけていきたいというふうに考えております。次年度以降、ご相談してやっていきたいと思います。

1、議長（堀田） 4番、雄谷議員。

1、4番（雄谷） ごめんなさい。しつこいようですけれども、この予算措置で2本立てで募集できると思うのですよ。地域おこし協力隊で募集するのも可能だし、報酬なので。そして、会計年度任用職員のパート、週4日ということで、そちらでも。だから、2本立てで募集することはこの予算措置で可能なので、2本立てでの募集は考えないのですかということで、すみません。これで最後にします。

1、議長（堀田） 村中社会教育課長。

1、社会教育課長（村中） 2本立てでということで、ちょっと検討して、できれば、そちらのほうも進めていきたいと思います。申し訳ありません。

1、議長（堀田） ほかに。

（「なし」の声あり）

別になければ、以上で質疑を終結します。

次に、歳入に対する質疑の発言を許します。

（「なし」の声あり）

別になければ、以上で質疑を終結します。

次に、議案第69号 令和7年度広尾町港湾管理特別会計補正予算（第1号）についてを審議しま



す。

本案に対する質疑の発言を許します。

(「なし」の声あり)

別になければ、以上で質疑を終結します。

次に、議案第70号 令和7年度広尾町国民健康保険事業勘定特別会計補正予算(第2号)についてを審議します。

本案に対する質疑の発言を許します。

(「なし」の声あり)

別になければ、以上で質疑を終結します。

次に、議案第71号 令和7年度広尾町介護保険特別会計補正予算(第2号)についてを審議します。

本案に対する質疑の発言を許します。

(「なし」の声あり)

以上で、質疑を終結します。

次に、議案第72号 令和7年度広尾町介護サービス事業特別会計補正予算(第2号)についてを審議します。

本案に対する質疑の発言を許します。

(「なし」の声あり)

以上で、質疑を終結します。

次に、議案第73号 令和7年度広尾町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)についてを審議します。

本案に対する質疑の発言を許します。

(「なし」の声あり)

別になければ、以上で質疑を終結します。

次に、議案第74号 令和7年度広尾町病院事業債管理特別会計補正予算(第1号)についてを審議します。

本案に対する質疑の発言を許します。

(「なし」の声あり)

別になければ、以上で質疑を終結します。

次に、議案第75号 令和7年度広尾町水道事業会計補正予算(第2号)についてを審議します。

本案に対する質疑の発言を許します。

(「なし」の声あり)

以上で、質疑を終結します。

次に、議案第76号 令和7年度広尾町下水道事業会計補正予算(第2号)についてを審議します。

本案に対する質疑の発言を許します。

(「なし」の声あり)

以上で、質疑を終結します。

これをもって各会計ごとの質疑を終結します。

これより討論、採決を行います。

お諮りします。議案第68号 令和7年度広尾町一般会計補正予算（第2号）についてから議案第76号 令和7年度広尾町下水道事業会計補正予算（第2号）についてまでの9件を一括して討論、採決したいと思います。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

異議なしと認めます。

よって、議案第68号から議案第76号までの9件を一括して討論、採決することに決しました。

お諮りします。本案9件は討論を省略したいと思います。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

異議なしと認めます。

よって、本案9件は討論を省略します。

これより議案第68号 令和7年度広尾町一般会計補正予算（第2号）についてから議案第76号 令和7年度広尾町下水道事業会計補正予算（第2号）についてまでの9件を一括採決します。

お諮りします。本案9件は、原案のとおり決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

異議なしと認めます。

よって、本案9件は原案のとおり可決されました。

#### ◎散会の宣告

1、議長（堀田） 以上をもちまして本日の日程は全て終了しました。

明日4日は、午前10時から本会議を開きます。

なお、議事日程は当日配付しますので、ご了承ください。

本日は、これにて散会します。

散会 午後 2時33分